

TEPRA

Grand

PCラベルソフト SPC7
取扱説明書

セットアップ

使い方

付録

はじめに

このたびは、「テプラ」Grandをお買い上げいただき、ありがとうございます。

ラベルソフトには、パソコンでラベルを作成する「PC ラベルソフト SPC7」（Windows 用）が含まれています。これらラベルソフトをお使いいただく際は、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

ラベルソフトを本書とともに未永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。

- ソフトウェア使用許諾契約書につきましては、インストール時にご確認ください。
- 本製品の使用を原因とする損害・逸失利益などにつきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書は、「PC ラベルソフト SPC7」について書かれています。対応する「テプラ」Grand 本体の機能や操作およびテープカートリッジの使いかたについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本書は、基本ソフト日本語 Windows 8/7/Vista/XP のいずれかがコンピュータにセットアップされていること、またそれらのコンピュータを使用するうえでの基本的な用語や操作について、既に理解されていることを前提に書かれています。用語や基本操作などについての不明な点は、ご使用いただいているコンピュータや OS のマニュアルなどをご覧ください。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書はラベルソフト完成前に印刷されるため、一部仕様と異なる箇所が存在する可能性があります。また、実際の画面とは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点などお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

!! 注意 !!

- 「テプラ」で得られるラベルについて
塩化ビニールのように可塑性入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 感熱紙は長期間の表示には不向きです。
- 感熱紙は、直射日光など強い光に当たる、ジアゾ（青焼き）コピー紙と密着させる、消しゴムや粘着テープや塩化ビニール製品と密着させる、アルコール類や有機溶剤などの薬品に接触する、硬いものでこする、高温多湿などにより、テープの表面や文字が退色しますので、あらかじめご了承ください。
- 細かな文字や白抜き文字、網掛け、地紋印刷などは、印刷がカスレることがあります。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、「KING JIM」、「テプラ」、「TEPRA」、「テプラ」Grand、G テープマークは株式会社キングジムの商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

●安全上のご注意…必ずお守りください！

お使いになる方々や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

ご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。



注意

この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。



⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



⊘ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 注意



このディスクはパーソナルコンピュータ用の「CD-ROM」です。一般オーディオ用 CD プレーヤーでは絶対に再生しないでください。大音量により障害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。



長時間の使用による目などの疲労に注意しましょう。



「テブラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑剤入り材料などの被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や被着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。








●本書の使いかた

本書は次の表記で記述します。


メニュー、コマンド、ダイアログボックスについて

【 表 記 】	【 説 明 】
[ファイル]	メニュー名は [] で囲みます。
[ファイル] - [開く]	コマンド名はメニュー名のあとに [] で囲みます。 続けておこなう操作は [] - [] と表示します。
[キャンセル]	ボタン名は [] で囲みます。
[定型]	タブ名は [] で囲みます。
「用紙の置き方」	項目名は 「 」 で囲みます。

マウスの操作について

【 表 記 】	【 説 明 】
 ポイント	マウスカーソルを目的の位置に合わせる操作です。
 クリック	マウスの左ボタンを 1 回押す操作です。
 ダブルクリック	マウスの左ボタンを続けて 2 回クリックする操作です。
 ドラッグ	マウスの左ボタンを押したままマウスを移動し、目的の位置でボタンを離す操作です。
 右クリック	マウスの右ボタンを 1 回押す操作です。

その他

【 表 記 】	【 説 明 】
① ②	操作手順を示しています。
< Shift >	パソコンのキーボードのキーを示しています。
参照 	関連する事項の参照ページを案内します。必要に応じて参照先をお読みください。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!! 注意 !!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

本文中で使用している画面は、日本語 Windows 7 の画面を例に説明しています。
本書に掲載している画面例は開発中のものを使用しているため、実際の画面とは異なる場合があります。
また、お使いのパソコンの環境により、表示される画面が異なる場合があります。

目次

はじめに

- 安全上のご注意…必ずお守りください！ 1
- 本書の使いかた 2
- 目次 3

セットアップ編

- パソコンにインストールする 6
 - 動作環境 6
 - アプリケーション、プリンタドライバをインストールする 7
 - アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする 12
 - 共有プリンタとして使う場合のインストール手順 15
- パソコンと「テブラ」Grand 本体を接続する 16

使い方編

- 「PC ラベルソフト SPC7」の起動～終了 18
 - 起動する 18
 - 新規作成 19
 - テープ設定を変更する 21
 - ファイルを開く 22
 - デザインフォームで作成 23
 - SPC7 を終了する 25
- SPC7 の基本操作 26
 - 文字を入力する 26
 - 図形を描画する 28
 - 印刷する 29
 - 文書を保存する 32
- 文字の編集 33
 - 書体を変更する 33
 - 文字サイズを変更する 34
 - 装飾を指定する 35
- 図形の編集 38
- ブロックを編集する 41
 - 移動する 41
 - 複写する 41
 - 回転する 42
 - 反転する 43
 - 前面・背面に移動する 44
 - 位置を揃える 44

- ブロックをロックする 46
- ブロックをグループ化する 46
- 削除する 47
- 流し込み機能 48
 - 流し込み操作の流れ 48
 - データを新規作成する 49
 - 既にあるデータを読み込む 50
 - データを入力する 51
 - データを流し込む 52
 - データを流し込み印刷する 53
 - データを保存する 54
 - 行や列を挿入する 55
 - 行や列を削除する 55
 - 行を並び換える（ソート） 56
 - テキスト以外のデータを入力する 57
 - 列のタイトルを変更する 60
- 貼り合わせラベルを印刷する（貼り合わせ印刷） 61
 - 貼り合わせラベルを作成する 61
 - 貼り合わせラベルを印刷する 62
- 外枠を挿入する 63
- イメージファイルを挿入する 64
- 記号を挿入する 66
- バーコードを挿入する 67
- カスタマバーコードを挿入する 72
- 表組みを挿入する 74
- 連番を設定する 76
- 日付・時刻を挿入する 79
- 地紋を挿入する 80
 - あらかじめ用意された地紋から選ぶ 80
 - 創作地紋を作る 80
 - 文字地紋を作る 82
- アートテキストを挿入する 83
- 市販のアプリケーションから印刷してみよう 85
 - オブジェクトとして取り込む 85
 - 市販のアプリケーションから印刷する 88
 - テンプレートを利用する 89
- 外国語を挿入する 90
 - テブラ外国語ラベル工房を利用する 90

付録

- テープカートリッジを使いわける 92
- 故障かな? と思ったら 93
 - 印刷を実行しても「テブラ」Grand 本体が動作しない 93
 - 機能が選択できない 93
 - 文字がきちんと印刷されない 93
 - きれいに印刷できない 93
 - 途中までしか印刷されない 93
 - ラベル印刷後、自動カットされない 94
 - 文字が欠けたり、カスれる 94
 - 印刷位置がおかしい 94
- 索引 95
- アフターサービスについて 巻末

セットアップ編

本製品をはじめてお使いの方はここからお読みください。
必要なソフトをパソコンにインストールします。

●パソコンにインストールする

動作環境

インストールする前に、お使いのパソコンが以下の条件に合っているかを確認してください。

インストールできるパソコンの条件

対応 OS	日本語 Windows 8/7/Vista/XP ※ 32ビット版、64ビット版に対応 (各 OS の推奨環境以上でお使いください)
対応 PC	PC/AT 互換機 対応 OS が正常に動作するパーソナルコンピュータ
ハードディスク占有容量	約 200MB
ドライブ	CD-ROM ドライブ
ディスプレイ	解像度 1024 × 768 (XGA) /High Color 以上
インターフェイス	USB 接続

※ 「テプラ外国語ラベル工房」の Web サイトをお使いになるには、インターネットへの接続環境が必要です。

!! 注意 !!

- 対応 OS 以外の Windows 2000/Me/98SE/98/NT での動作は保証しません。
- Windows をアップグレードしたパソコンでは正しく動作しないことがあります。
- お使いのパソコン環境によっては、正しく動作しない場合があります。
- 他の OS のエミュレート環境での動作は保証できません。
- バージョンの古いソフトウェアがインストールされている場合は、アンインストールを行った後に新しいソフトウェアをインストールしてください。
- パソコンへのインストールは、必ず Administrator 権限で実行してください。Administrator 権限で行わない場合、インストールに失敗し、ソフトウェアが正しく動作しません。
- 本ソフトウェアの対応機種につきましては、CD-ROM、Readme、当社ホームページ（アドレス <http://www.kingjim.co.jp/>）などをご確認ください。
- ウイルス対策ソフトの影響により、インストールに失敗することやソフトウェアが正しく動作しない場合があります。お使いのウイルス対策ソフトの説明書などをご確認の上、インストール時にウイルス対策ソフトを停止するなどの対処をしてください。
また、本ソフトウェアの動作に必要なプログラムが、ウイルスとして誤検出される場合があります。正しく動作しなくなった場合は一旦アンインストールをおこない、再インストールをお試しください。
- アプリケーションとプリンタドライバは、CD-ROM に含まれる組み合わせでご利用ください。異なる組み合わせでは印刷できません。
- 最新のバージョン情報は当社ホームページでご確認いただけます。
<http://www.kingjim.co.jp/>

アプリケーション、プリンタドライバをインストールする

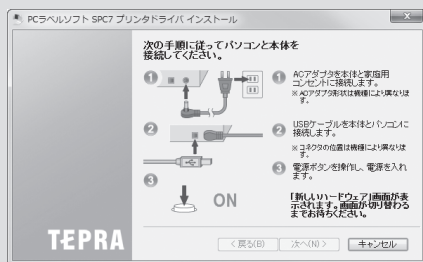
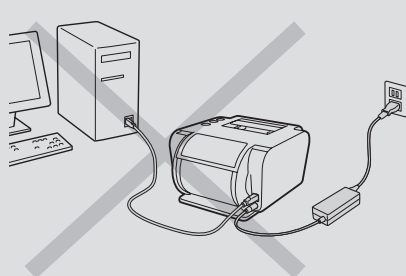
以下のソフトをインストールします。

「PC ラベルソフト SPC7」	パソコンを利用して画像やイラストを挿入したり「流し込み印刷」などができる、ラベル編集ソフトです。
プリンタドライバ	パソコンから「テプラ」Grand 本体で印刷するために必要なソフトです。

!! 注意 !!

画面で指示されるまで「テプラ」Grand 本体をパソコンに接続しないでください。

手順⑥で、画面による指示があるまで「テプラ」Grand 本体をパソコンに接続しないでください。

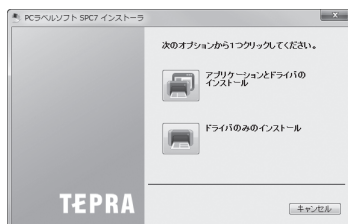


手順⑥の画面

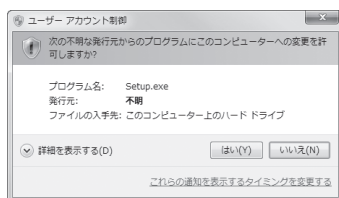
- プリンタドライバをインストールしていない状態で「テプラ」Grand 本体をパソコンに接続すると、「新しいハードウェアの追加」画面が表示されます。すぐに [キャンセル] をクリックしパソコンから「テプラ」Grand 本体をはずしてください。必ずプリンタドライバをインストールしてから接続してください。
- 本取扱説明書は、CD-ROM に含まれるラベル編集ソフト「PC ラベルソフト SPC7」とプリンタドライバのインストールや使いかたについて説明する内容になっており、Windows やパソコンの操作については詳しく説明していません。また、Windows やパソコンについて、最低限の操作（マウス操作やファイルの扱いなど）を習得されていることを前提にしておりますので、必要な場合は Windows やパソコンの説明書をお読みください。
- CD-ROM に含まれるプログラムをご使用になったうえでの故障や不具合、データ損失などににつきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- 1 台のパソコンに同じ機種種の「テプラ」Grand 本体を複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2 回目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」Grand 本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- 複数ユーザーで使用する場合はインストール後、一度ログオフしてから「別ユーザー」としてご使用ください。
- インストールの際は、ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。ラベルソフトが正常にインストールされない場合があります。

- 1 **パソコンの電源を入れ、Windows を起動する**
起動しているソフトウェアがあれば終了してください。ウイルス対策ユーティリティなどのプログラムも終了してください。

- 2 **同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れる**
インストールプログラムが起動します。

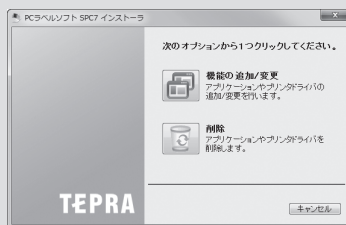


Windows 8/7/Vista の場合、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されます。「続行」または「はい」をクリックし継続してください。



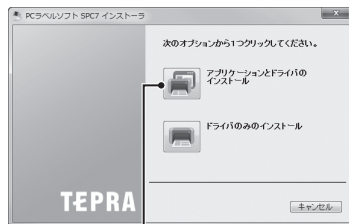
MEMO

- インストールプログラムが起動しない場合は、次の操作をしてください。
 - ① [コンピューター] (Windows Vista は [コンピュータ]、Windows XP は [マイコンピュータ]) を開く
 - ② [CD-ROM] アイコンをダブルクリックする
- 右の画面が表示されるときは、既にアプリケーションまたはプリンタドライバがインストールされています。インストール項目を追加する場合は、[機能の追加/変更] で変更できます。古いバージョンのアプリケーションがインストールされているときは、表示に従いアンインストールしてから本ソフトをインストールしてください。



3 「アプリケーションとドライバのインストール」をクリックする

プリンタドライバのみをインストールすることもできますが、ここでは、アプリケーション、プリンタドライバの両方をインストールします。



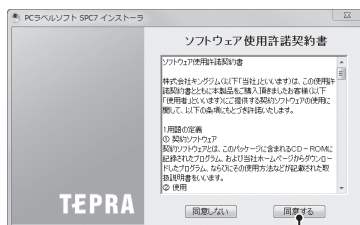
1 クリック

MEMO

「ドライバのみのインストール」をクリックした場合は、手順④のあと、手順⑦に進みます。

4 ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して同意する場合は「同意する」をクリックする

同意しない場合は「同意しない」をクリックしてください。インストールは中止されます。



1 クリック

5 インストール先を確認し、「次へ」をクリックする

インストール先を変更する場合は「参照」をクリックすると変更できます。インストールが開始されます。

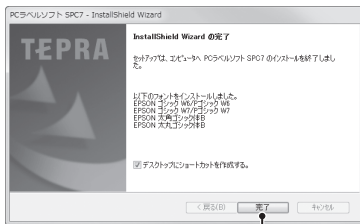


1 確認して

2 クリック

6 それぞれ必要な項目をチェックし「完了」をクリックする

アプリケーションのインストールが終了すると、インストールされたフォント一覧とショートカットの作成を確認する画面が表示されます。続いてプリンタドライバのインストールに進みます。



1 クリック

次へ進みます

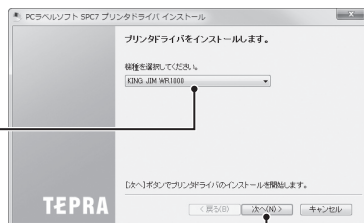
!! 注意 !!

お使いのパソコンの環境によって、プリンタドライバのインストール画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。表示されるまで、しばらくお待ちください。

7 機種を選択し、[次へ] をクリックする

右側の [▼] をクリックして表示されるリストからパソコンと接続する機種を選択します。

① 選択して

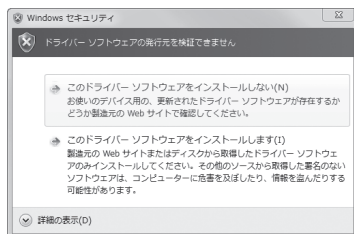


② クリック

MEMO

接続する機種以外を選択するとインストールできません。

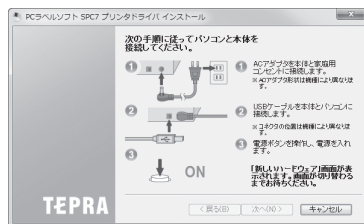
「Windowsセキュリティ」の画面が表示された場合は、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックし継続してください。



8 画面に表示される指示に従って「テプラ」Grand 本体をパソコンに接続する

参照 P.16 「パソコンと「テプラ」Grand 本体を接続する」

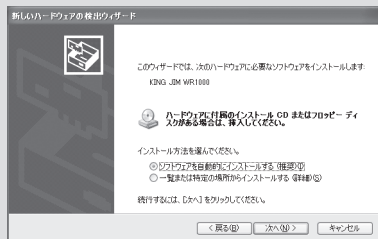
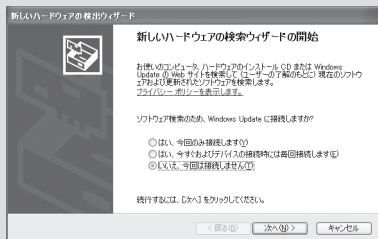
「新しいハードウェア」のインストールが実行されます。しばらくするとインストールが完了し、手順⑨の画面が表示されます。



MEMO

ハードウェア検出ウィザードが表示された場合（画面は Windows XP）

インストール時に、まれに「ハードウェア検出ウィザード」が表示される場合があります。「Windows Update の接続」では「いいえ、今回は接続しません」を選択します。「インストール方法」は「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択します。



お使いの OS によって指定する [inf] ファイルが異なります。下記ディレクトリ内の [inf] ファイルを選択してください。

32bit 版 OS の場合 「E:(お使いの CD-ROM ドライブ)¥Driver ¥WRxx ¥win32 ¥***.inf」

64bit 版 OS の場合 「E:(お使いの CD-ROM ドライブ)¥Driver ¥WRxx ¥x64 ¥***.inf」

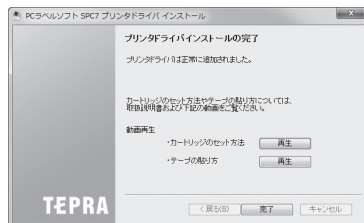
9 【完了】をクリックする

インストールが終了します。

「再生」をクリックすると、「カートリッジのセット方法」、「テープの貼り方」に関する動画をご覧ください。

またこれらの動画は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [TEPRA] - [PC ラベルソフト SPC7](Windows 8は、[スタート]画面で右クリックし、[すべてのアプリ] - [TEPRA]) からでも再生できます。

[Read me] ファイルは、本書に記載されていない最新情報が記載されていますので必ず確認してください。



!! 注意 !!

プリンタの削除は「プログラムのアンインストール」(Windows XP は「プログラムの追加と削除」)か「CD-ROM」のインストールプログラムで削除してください。

参照 P.12 「アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする」

MEMO

ネットワーク管理者の方へ

本機は、USB デバイスサーバを利用して共有する以外に、ネットワーク上の Windows 8/7/Vista/XP パソコンに接続し、共有プリンタに設定して印刷することができます。ただし、ネットワークの環境や、ネットワーク上のパソコンにインストールされているデバイスによっては、共有プリンタとして正常に機能しないことがあります。

共有プリンタで使用する場合は、サーバ側とクライアント側の双方にインストールが必要です。

参照 P.15 「共有プリンタとして使う場合のインストール手順」

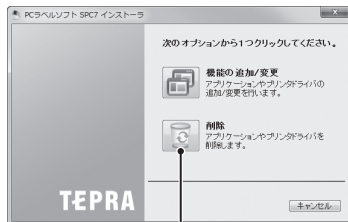
アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする

!! 注意 !!

- アプリケーション、プリンタドライバのアンインストールは、必ず下記に記載の手順でおこなってください。
- プリンタドライバをアンインストールするときは、パソコンと「テプラ」Grand 本体を接続している USB ケーブルをはずしてからおこなってください。

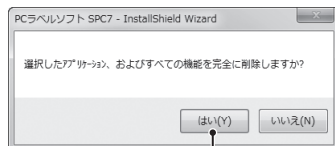
1 同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れて、インストールプログラムを起動する

2 **【削除】** をクリックする
アンインストールの準備が整うと、確認の画面が表示されます。



1 クリック

3 **【はい】** をクリックする
アンインストールが開始されます。

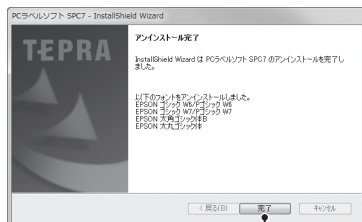


1 クリック

MEMO

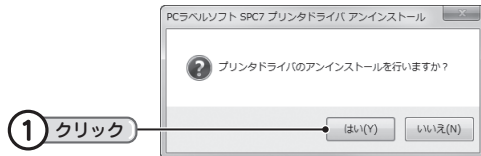
ここで「いいえ」をクリックすると、アプリケーションのアンインストールを中止します。

4 **【完了】** をクリックする
SPC7 に関連してアンインストールされたフォント一覧が表示されます。
続いて、プリンタドライバのアンインストールに進みます。



1 クリック

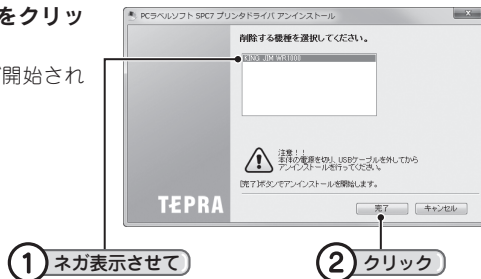
- 5** **【はい】 をクリックする**
 プリンタの選択画面に進みます。



MEMO

ここで **【いいえ】** をクリックすると、プリンタドライバのアンインストールを中止します。

- 6** **削除する機種をネガ表示し、【完了】 をクリックする**
 プリンタドライバのアンインストールが開始されます。



- 7** **【はい】 をクリックする**
 パソコンが再起動されます。

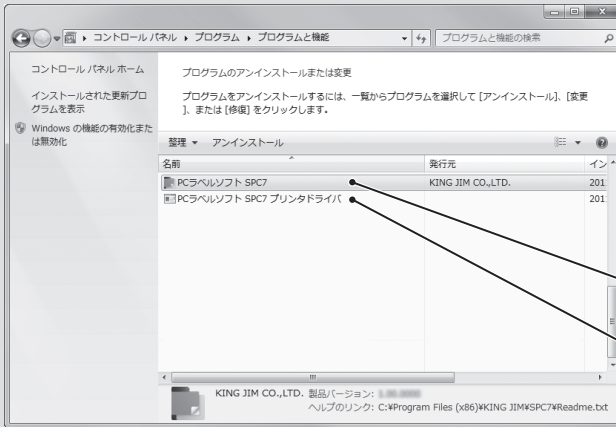


!! 注意 !!

- プリンタドライバをアンインストールした場合は、必ずパソコンを再起動してください。
- プリンタの削除は「プログラムのアンインストール」(Windows XP は「プログラムの追加と削除」か「CD-ROM」のインストールプログラムで削除してください)。

MEMO

- アプリケーションSPC7とプリンタドライバのアンインストールは、[コントロールパネル]—[プログラムのアンインストール]（Windows XPは「プログラムの追加と削除」）からでも操作できます。ただし、CD-ROMからのアンインストールとは異なり、アプリケーション用（PCラベルソフト SPC7）とプリンタドライバ用（PCラベルソフト SPC7 プリンタドライバ）と分かれていますので、ご注意ください。



アプリケーションを
アンインストールする場合

プリンタドライバを
アンインストールする場合

共有プリンタとして使う場合のインストール手順

USB デバイスサーバを利用して共有する以外に、ネットワーク環境下で別のパソコンから「テプラ」Grand を印刷することができます。

下記の方法でプリンタドライバをインストールしてください。

サーバ側の操作：

- ① サーバとなるパソコンに、あらかじめパスワード付きのユーザーアカウントを登録しておく
- ② ①のユーザーでログインし、同梱の CD-ROM からインストールする
参照 P.7「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」
- ③ プリンタフォルダから、インストールされた「テプラ」Grand を「共有」に設定する

クライアント側の操作：

- ④ クライアント側でインストール操作の手順⑦までおこなう
参照 P.7「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」
- ⑤ 手順⑧で、Explorer などを使いネットワーク上のサーバーにログインし、共有設定されている「テプラ」Grand のプリンタのアイコンをダブルクリックする
- ⑥ しばらくして手順⑨の画面になるので【完了】をクリックする

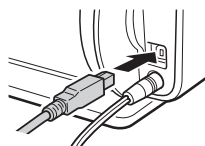
!! 注意 !!

- クライアントパソコンもインストールの際は、ウイルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。
- 共有プリンタとして使う場合、64 ビット版 OS は、OS の制限により使えない場合があります。また OS の「追加ドライバ」が必要な場合があります。
- ドライバインストール時にウイルス対策ユーティリティなどのプログラムが常駐していると「Option UI Manager Service」を不正プログラムとして誤検出する場合があります。その場合は画面表示を確認し、「許可」または「OK」してください。

●パソコンと「テプラ」Grand 本体を接続する

1 「テプラ」Grand 本体に AC アダプタと USB ケーブルを接続する

※ USB ケーブルの差込口の位置につきましては、本体取扱説明書の「各部の名前とはたらき」を参照してください。



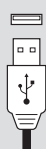
2 USB ケーブルのもう一方をパソコンの USB コネクタに接続する

MEMO

コネクタの形状と向きを確認してから接続してください。

A タイプ USB コネクタ

パソコンのコネクタに使われているのはこの A タイプの USB コネクタです。



B タイプ USB コネクタ

「テプラ」Grand 本体の USB コネクタに使われているのはこの B タイプの USB コネクタです。

3 「テプラ」Grand 本体にインクリボンカートリッジやテープカートリッジをセットする

4 「テプラ」Grand 本体の電源を ON にする

テープカートリッジをセットした直後は、テープ送りを実行し、テープのたるみを取ります。

!! 注意 !!

- パソコンにプリンタドライバをインストールしていない状態で「テプラ」Grand 本体をパソコンに接続すると、「新しいハードウェアの追加」画面が表示されます。すぐに [キャンセル] をクリックしパソコンから「テプラ」Grand 本体をはずして、必ず同梱の CD-ROM でプリンタドライバをインストールしてからご使用ください。

参照 [P.7](#) 「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」

- 1 台のパソコンに同じ機種種の「テプラ」Grand 本体を複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2 回目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」Grand 本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- USB ハブを使用した場合の動作については、保証できません。

使い方編

「PC ラベルソフト SPC7」でラベルを作るときの操作方法を説明します。
画像やイラストを自由に配置するなどレイアウトに凝ったラベル編集ができます。

● 「PC ラベルソフト SPC7」の起動～終了

起動する

- 1 「PC ラベルソフト SPC7」を起動する**
デスクトップの [PC ラベルソフト SPC7] アイコンをダブルクリックします。

1 ダブルクリック



MEMO

インストール時に、「デスクトップにショートカットを作成する」のチェックを外した場合は、デスクトップの [PC ラベルソフト SPC7] アイコンがありません。以下の方法で起動してください。

- Windows 7/Vista/XP は、[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] - [TEPRA PRO] - [PC ラベルソフト SPC7] - [PC ラベルソフト SPC7] をクリックします。
- Windows 8 は、[スタート] 画面に作成された [PC ラベルソフト SPC7] タイルをクリックします。また、[スタート] 画面で右クリックし、[すべてのアプリ] - [TEPRA] - [PC ラベルソフト SPC7] をクリックしても起動できます。

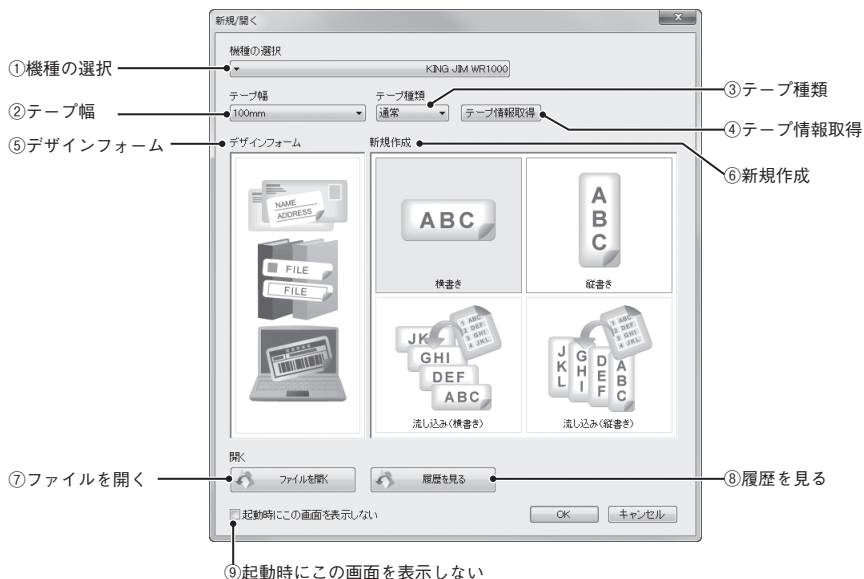
新規作成

ラベルを新規に作るときは、最初に作成方法を選択します。

1 「PC ラベルソフト SPC7」を起動する

「新規 / 開く」画面が表示されます。

2 「新規 / 開く」画面で各項目を設定する



- ① **機種**の選択 : 接続している「テプラ」Grand 本体名を選択します。
- ② **テープ幅** : 使用するテープ幅を選択します。
- ③ **テープ種類** : 使用するテープ種類を選択します。カットラベル使用時のみ「カットラベル」に変更します。
- ④ **テープ情報取得** : クリックすると、「テプラ」Grand 本体にセットされているテープ情報を読み取ります。
- ⑤ **デザインフォーム** : デザインフォームを利用してラベルを作成します。
- ⑥ **新規作成** : 選択した向きで新規にラベルを作成します。「流し込み」を選択すると、レイアウト編集画面と同時にデータ作成ウィンドウも開きます。
- ⑦ **ファイルを開く** : 保存されている SPC7 ファイルを開きます。
- ⑧ **履歴を見る** : 今まで使用したファイルを表示します。
- ⑨ **起動時にこの画面を表示しない** : チェックすると、起動時にこの画面を表示しません。

次へ進みます

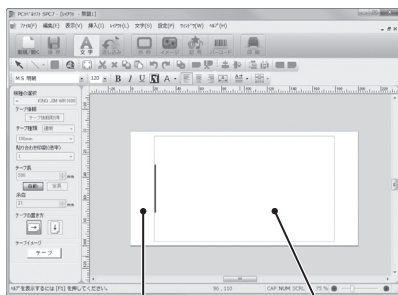
③ すべての項目を指定したあと [OK] をクリックする

レイアウト編集画面に設定したテープが表示され、入力や編集が可能になります。

参照 P.26 「文字を入力する」



1 クリック



白い部分がラベルの大きさに、赤い点線が印刷範囲になります。点線からハミ出した内容は印刷されません。

赤い点線内に入力する

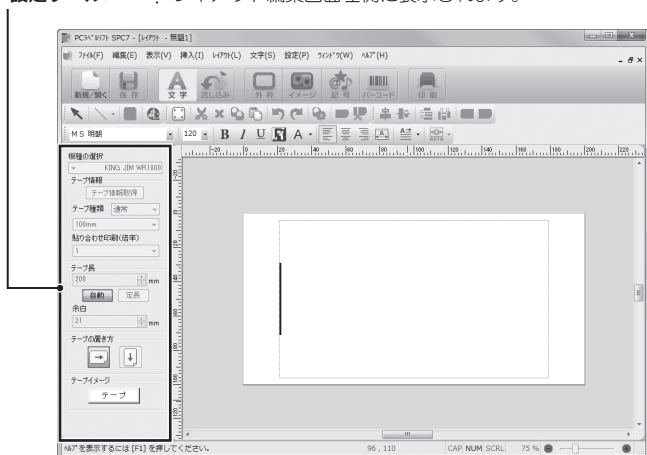
MEMO

- 「新規 / 開く」画面は、操作ガイドバーの「新規 / 開く」をクリックするか [ファイル] - [新規作成] を指定すると開きます。
- テープの長さや幅、余白は、テープ設定ツールバーの各ボタンで変更できます。
参照 P.21 「テープ設定を変更する」
- テープの余白を「0mm」に設定するとフチなし印刷の目安として印刷範囲（赤い点線）の他に印刷保障範囲（青い点線）が表示されます。印刷保障範囲は、確実に印刷できる範囲を示し、それより外はフチなし印刷のため、欠けたり乱れたりすることがあります。
- ブロックの位置関係がわかりづらいときは、[表示] メニューでグリッドやガイドラインを表示することもできます。

テープ設定を変更する

テープの長さや幅、余白、テープ色などはテープ設定ツールバーで変更できます。

テープ設定ツールバー：レイアウト編集画面左側に表示されます。



- ①機種を選択：接続している「テプラ」Grand 本体名を選択します。
- ②テープ情報取得：クリックすると、「テプラ」Grand 本体にセットされているテープ情報を読み取ります。
- ③テープ種類：使用するテープ種類を選択します。カットラベル使用時のみ「カットラベル」に変更します。
- ④テープ幅：使用するテープ幅を選択します。
- ⑤貼り合わせ印刷（倍率）：テープ幅×倍率で貼り合わせるテープを作成します。例えば「2倍」の場合、画面ではテープが2枚貼り合わされます。
- ⑥テープ長：テープの長さを「自動」か「定長」のどちらかで設定します。

自動	文章の長さに応じてテープの長さが自動的に調節されます。
定長	「テープ幅」の数値で指定した長さのラベルを作ります。

- ⑦余白：ラベルの前後の余白を数値で指定します。
テープの余白を「0mm」に設定するとレイアウト編集画面のテープに印刷範囲（赤い点線）の他に印刷保障範囲（青い点線）が表示されます。印刷保障範囲は、確実に印刷できる範囲を示し、それ以外は印刷が欠けたり、乱れたりする場合があります。

- ⑧テープの置き方：

縦	テープが縦置きで表示されます（テキストは縦書きになります）。
横	テープが横置きで表示されます（テキストは横書きになります）。

- ⑨テープイメージ：表示するテープおよびインクの色を指定します。クリックすると、「テープイメージ」画面が表示されるので、表示色を選択して [OK] をクリックします。「ユーザ」を選択するとテープ色 / インク色を変更できます。
この設定は画面上でイメージを確認するためのもので、実際の印刷色には反映されません（印刷は本体にセットされているテープ色 / インク色のカートリッジで行われます）。

ファイルを開く

ファイルに保存してあるラベルを表示するには、目的のファイルを開きます。

1 「新規 / 開く」画面の「ファイルを開く」をクリックする

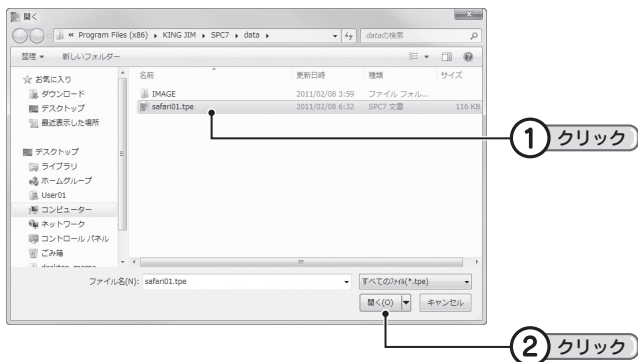
「開く」画面が表示されます。



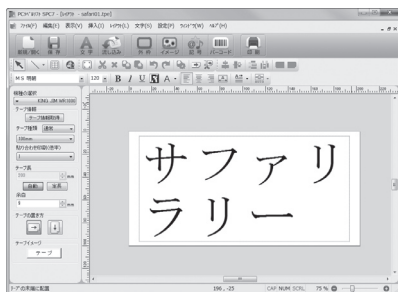
1 クリック

2 ファイルを指定して「開く」をクリックする

「開く」画面にファイルがない場合は、フォルダを切り替えて保存した場所を表示させます。



指定したファイルが表示され編集ができます。
参照 P.26 「文字を入力する」



MEMO

- SPC7 では「PC ラベルソフト SPC7 ファイル (tpe) 形式」のファイルのみ開くことができます。
 - ここでは事前に「safari01」というファイルを保存していた場合を例に説明しています。初期状態では「safari01」というファイルは存在しません。
- 参照 P.32 「文書を保存する」

デザインフォームで作成

あらかじめ用意されているデザインフォームを利用すれば、簡単にラベルを作ることができます。それぞれのデザインフォームのレイアウトは、操作途中の「[デザインフォームの選択]」画面（手順④）で確認できます。

例：



- 1 「新規／開く」画面の「[デザインフォーム]」を選択して「OK」をクリックする
[デザインフォームの選択] 画面が表示されます。



MEMO

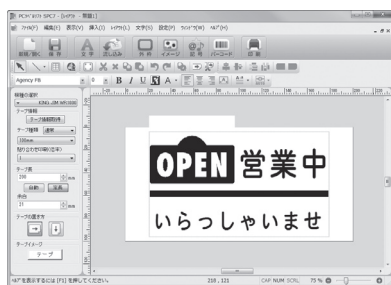
[ファイル] - [デザインフォーム] を選択しても、[デザインフォームの選択] 画面が表示されます。

- 2 分類の一覧から目的のデザインを選択する
左側の分類をクリックすると、その中に含まれている内容が表示されます。目的のラベルを選択すると、ラベルのデザイン、テープ幅が確認できます。



次へ進みます

- 3** [OK] をクリックする
選択されたデザインのラベルが表示されます。



MEMO

- 流し込み枠のあるデザインフォームを選択したときは、デザインフォームを選択して [OK] をクリックすると、それに対応したデータ作成画面が自動的に表示されます。データを入力するか、利用するデータを開いてください。
参照 P.50 「既にあるデータを読み込む」
参照 P.51 「データを入力する」
- デザインフォームにより、使用できるテープ幅などが異なります。デザインフォームに合わせて、テープ種類を交換してください。

- 4** ラベルの内容を変更する
レイアウト編集画面で読み込んだデザインフォームの文字や記号、イラストなどを変更します。
参照 P.26 「文字を入力する」

!! 注意 !!

塗りつぶしの多い図形や太い文字を印刷すると、インクのにじみやつぶれが発生することがあります。また、細い線や細い文字などは、カスレや抜けが発生することがあります。

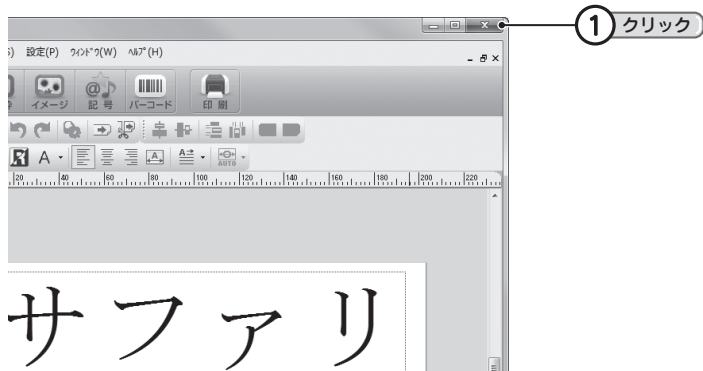


MEMO

- デザインフォームでは、書き換えの頻繁なテキスト（文字）データについては、通常のテキストブロック同様、ダブルクリックして内容を変更できますが、あまり変更の必要のない記号やイラストについては、誤って変更しないよう、ロックが指定してあります。これらロックされているデータについても、ロックを解除すれば変更できるようになります。
参照 P.46 「ブロックをロックする」
- 読み込んだデータやデザインフォームなど、画面上のイメージに合った印刷結果を得るためには、テープイメージに表示されるテープ色/インク色と同じ色のカートリッジを本体にセットしてください。

SPC7 を終了する

- 1 画面右上の **✕** をクリックする
文書が保存されていれば、そのままウィンドウが閉じます。



MEMO

SPC7 の終了は、[ファイル] - [終了] を選択しても実行できます。

!! 注意 !!

文書を保存しないまま終了操作をおこなったときは、保存を確認する画面が表示され、[はい] を選択すると [名前を付けて保存] 画面が表示されます。保存を確認する画面で [いいえ] を選択すると、作った内容が破棄され SPC7 を終了します。一度データの内容が破棄されると、もとに戻すことができませんので充分注意してください。

● SPC7 の基本操作

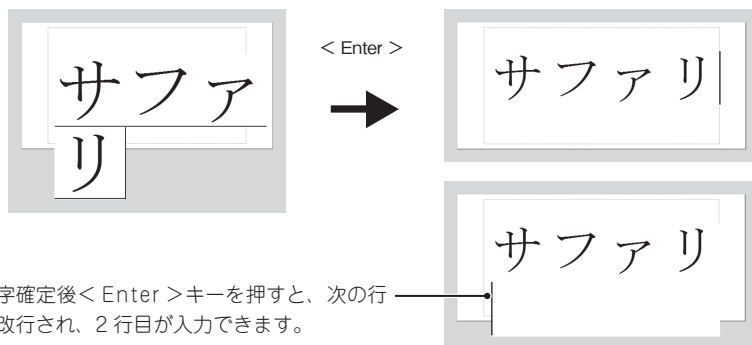
文字を入力する

- ① 操作ガイドバーの【文字】をクリックし、文字を入力する位置をクリックする
文字を入力できる状態になります。



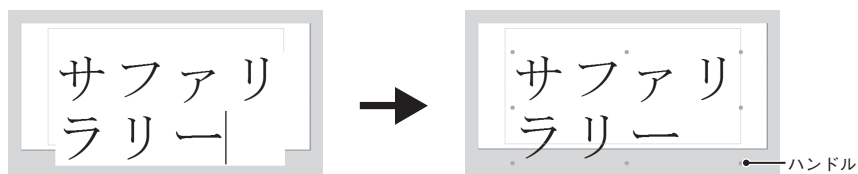
- ② 文字を入力する

文字入力後、キーボードの<変換>キーで変換し、<Enter>キーで確定します。

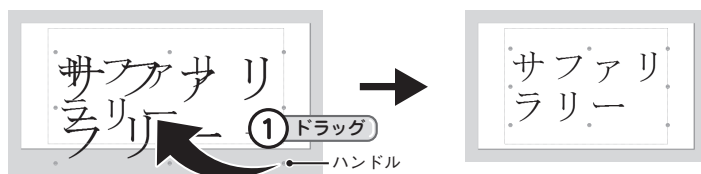


文字確定後<Enter>キーを押すと、次の行に改行され、2行目が入力できます。


- ③ テキストブロック以外の場所をクリックする
テキストブロックがハンドルつきで表示されます。



- ④ カドのハンドルをドラッグして、テキストブロックの枠サイズをラベル幅に合わせる

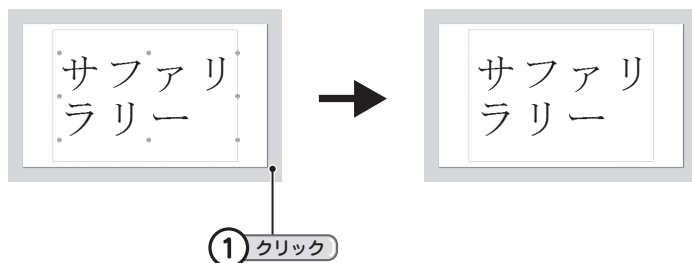


MEMO

- ハンドル表示中のテキストブロックは、内容、位置、枠サイズを変更できます。枠サイズを変更するときは、ハンドルをドラッグします。カドのハンドルをドラッグすると、縦横比を変えずに文字サイズを拡大、縮小できます。また、キーボードの < Shift > もしくは < Ctrl > キーを押しながらハンドルをドラッグすると、テキストブロックの縦横比を自由に変更しながら文字を拡大、縮小できます。
- 表示されるオブジェクトのサイズ・位置はイメージです、実際のラベルとは誤差があります。
- 文字を縦書きにすることは、ハンドル表示中に文字ツールバーの  (文字方向) の右側の [▼] をクリックし、[縦書き] を選択します。
- テキストブロックを複数使って、縦書きと横書きが混在するラベルを作成することもできます。

⑤ テキストブロック以外の場所をクリックする

ハンドルが消えてテキストブロックが確定します。



MEMO

改行したテキストブロックを1行に戻す場合は、次の操作をしてください。

- ① テキストブロックをダブルクリックして「テキスト編集」の状態にする
テキストブロック内に文字カーソルが表示され、文字を入力できる状態になります。
- ② 文字カーソルを1行目の行末に移動し、< Delete > キーを押す
改行が削除され、1行になります。改行の削除は、文字カーソルを2行目の行頭に移動してから < BackSpace > キーを押しても操作できます。



図形を描画する

編集ツールバーの図形ボタンを利用すると、さまざまな図形を描画できます。



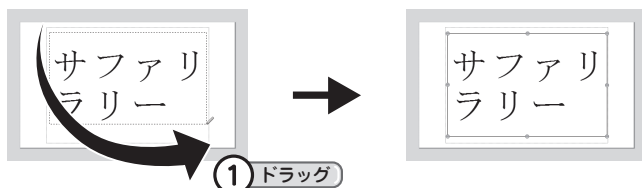
- (直線).....直線を描きます。
- (四角形).....四角形を描きます。
- (正多角形).....正多角形を描きます。
- (円).....円を描きます。
- (扇形).....扇形、弓形、円弧を描きます。
- (連続直線).....連続した直線で図形を描きます。
- (自由線).....フリーハンドで図形を描きます。
- (ベジェ曲線).....ベジェ曲線で図形を描きます。

例：四角形を描画する

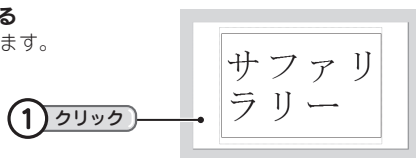
- 1 編集ツールバーの【図形】ボタン右側の【▼】をクリックし、 (四角形) ボタンをクリックする



- 2 描画する始点から終点までマウスでドラッグする
四角形を描画できます。



- 3 図形以外の場所をクリックする
ハンドルが消えて図形が確定します。

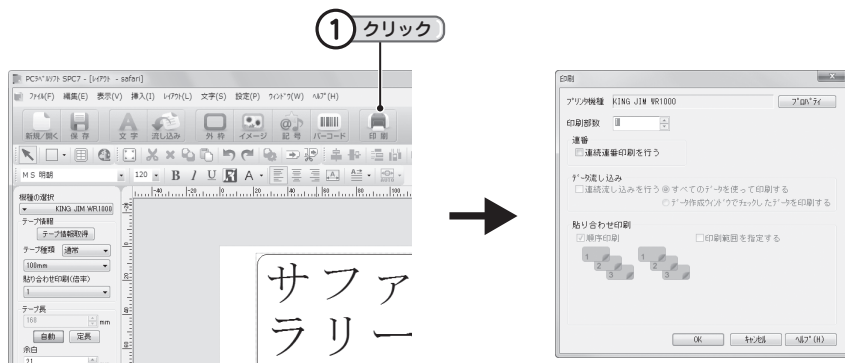


MEMO

- 四角形の場合は、右上カドのオレンジ色のハンドルをドラッグすると角の丸みを調整できます。
- 正多角形の場合は、手順①の操作後に開く [正多角形の設定] 画面で多角形の角数と形を設定したあとに、描画できます。
- 図形を描画する線種や線の太さ、塗りつぶしなどは、図形のプロパティ画面で設定します。
参照 P.38 「図形の編集」

印刷する

- ① 「テブラ」 Grand 本体に印刷するサイズに合ったテープカートリッジがセットされていることを確認する
- ② 「テブラ」 Grand 本体をパソコンに接続し、電源を入れる
- ③ 操作ガイドバーの【印刷】をクリックする
【印刷】画面が表示されます。



MEMO

- 【印刷】画面は、【ファイル】－【印刷】を選択しても表示されます。
 - 【ファイル】－【プリンタの設定】を選択すると、用紙の設定、テープカットの方法、テープ幅確認メッセージの有無などを変更できる【プロパティ】画面が表示されます。また、上記【印刷】画面で【プロパティ】をクリックしても、【プロパティ】画面が表示されます。
- この【プロパティ】から変更したプリンタドライバの設定内容はアプリケーションを終了すると初期設定に戻ります。プリンタドライバの初期設定を変更したい場合は、【コントロールパネル】から開く【デバイスとプリンターの表示】(Windows Vista は【プリンタ】、Windows XP は【プリンタとFAX】)画面で設定してください。

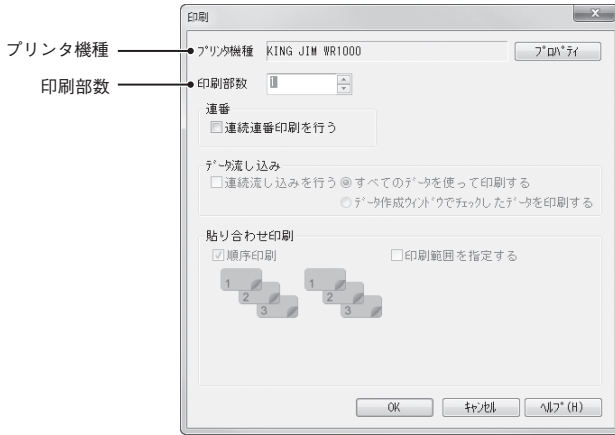
!! 注意 !!

- 印刷中や、テープ送り時に AC アダプタ・USB ケーブルをはずさないでください。電源スイッチで電源を OFF にした後に、はずしてください。
- 長いラベルを印刷する場合、印刷開始までに時間がかかる場合があります。

次へ進みます



4 [印刷] 画面の内容を確認する



- プリンタ機種** : プリンタ機種が接続している「テブラ」Grand 本体であることを確認します。違う本体が選択されているときは、[キャンセル] をクリックして印刷を中止し、テープ設定ツールバーで機種を選択しなおしてください。
参照 P.21 「テープ設定を変更する」
- 印刷部数** : 同じラベルを複数印刷するときは、「印刷部数」を変更します。複数印刷を指定しても、貼り合わせラベル以外では順序印刷を変更できません。

5 内容が正しければ [OK] をクリックする

テープ幅確認のメッセージが表示されます。

6 テープ幅を確認する

- テープ幅設定値** : 新規作成時やテープ設定などで設定したテープ幅が表示されます。
参照 P.19 「新規作成」
参照 P.21 「テープ設定を変更する」



- 装着テープ幅** : 「テブラ」Grand 本体に装着されているテープカートリッジのテープ幅が表示されます。
「テープ幅設定値」と「装着テープ幅」が異なっていると、目的の印刷結果が得られません。そのときは [キャンセル] をクリックして [テープ幅設定値] と [装着テープ幅] を合わせてください。

MEMO

テープ幅確認メッセージは、表示しないように設定することもできます。表示しないように設定するには、[プロパティ] 画面のオプションタブをクリックし、「テープ幅確認メッセージを表示する」のチェックマークをはずしてください。

7 [OK] をクリックする

印刷を開始します。「印刷中」の画面で [中止] をクリックすると、印刷を中止します。



!! 注意 !!

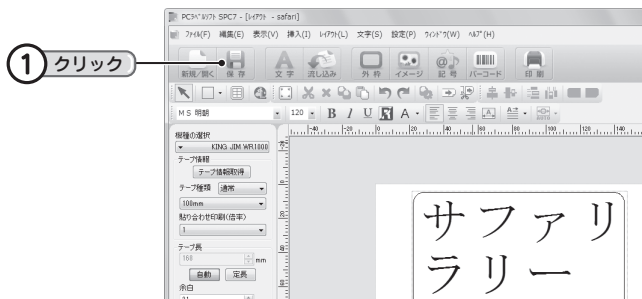
- 本機の印刷中や、テープ送り時に AC アダプタ・USB ケーブルをはずさないでください。電源スイッチで電源を OFF にした後に、はずしてください。
- 塗りつぶしの多い図形や太い文字を印刷すると、インクのにじみやつぶれが発生することがあります。また、細い線や細い文字などは、カスレや抜けが発生することがあります。
- テープの余白を「0mm」に設定して印刷するとフチなし印刷になります。この場合は、レイアウト編集画面に印刷保障範囲（青い点線）が表示されています。印刷保障範囲は、確実に印刷できる範囲を示し、それより外側の印刷範囲を示す赤い点線は、縁の位置の目安です。この部分は、テープの縁に近いので、印刷が欠けたり、乱れたりする場合があります。

文書を保存する

作ったラベルの保存は、現在のファイル名でそのまま保存する「上書き保存」と、別のファイル名を入力して保存する「名前を付けて保存」があります。

① 操作ガイドバーの【保存】をクリックする

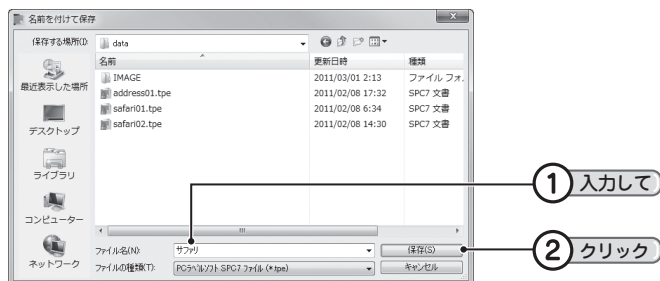
ファイルを開いた場所に同じ名前の上書き保存します。新規に作成したラベルの場合は、[名前を付けて保存] 画面が表示されます（手順②へ）。



② ファイル名を入力して【保存】をクリックする

作った文書が保存され、編集画面に戻ります。

「保存する場所」のフォルダを切り替えて保存場所を変更することもできます。



MEMO

- 上書き保存は、[ファイル] - [上書き保存] を選択しても実行できます。
- 別のファイル名で保存する場合は、[ファイル] - [名前を付けて保存] を選択します。[名前を付けて保存] を選択すると、手順②の [名前を付けて保存] 画面が表示され、ファイルの名前を変更できます。

!! 注意 !!

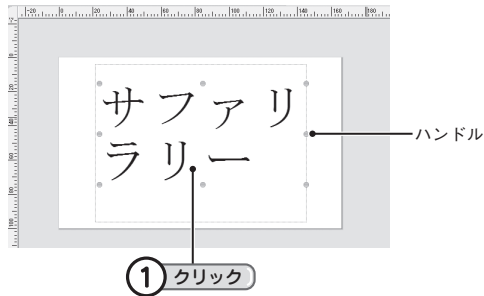
- 上書き保存をおこなうと、開いたもとのファイルの内容が書き換わります。十分に確認してから上書き保存をしてください。
- SPC7 では「PCラベルソフト SPC7 ファイル (tpe) 形式」で保存されます。
- 「PCラベルソフト SPC7 ファイル (tpe) 形式」のファイルは、他のアプリケーションソフトではお使いになれない、SPC7 専用のファイルです。

●文字の編集

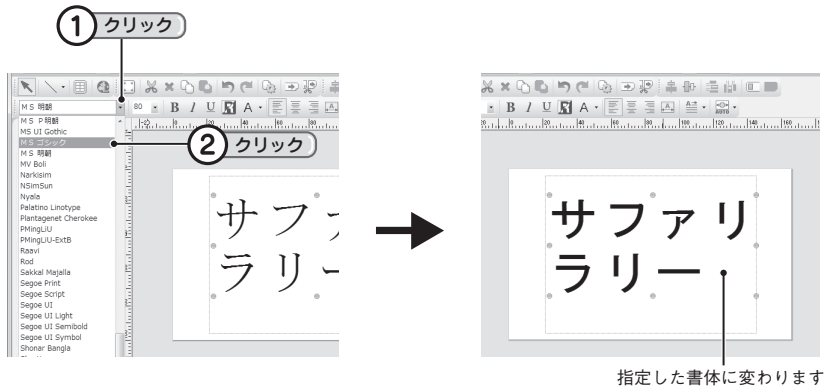
入力した文字は、文字ツールバーで書体やサイズを変更したり、装飾することができます。

書体を変更する

- 1 テキストをクリックする
テキストブロックがハンドルつきで表示されます。



- 2 文字ツールバーの【フォント名】で書体を指定する
表示されるリストから書体を選択します。

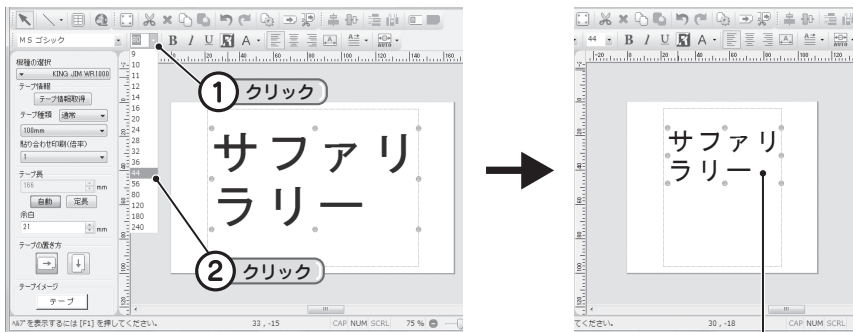


MEMO

- パソコンに内蔵されている書体（True Type フォントのみ）が指定できます。
- Unicodeにも対応しています。
- 一部のフォントを使用した場合、テキストブロックからはみ出して表示されます。表示されているテキストが赤点線で表示されている印刷領域内に収めてください。その際、テキストブロックを動かすと残像が出ることがあるので、[表示] — [再表示]をおこなってください。

文字サイズを変更する

- 1 テキストをクリックする
テキストブロックがハンドルつきで表示されます。
- 2 文字ツールバーの【フォントサイズ】で文字サイズを指定する
表示されるリストから数値を選択するか、直接入力します。

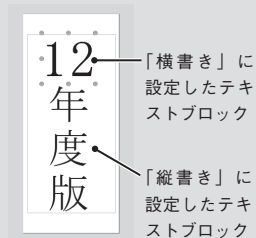


指定したサイズに変わります

MEMO

- 文字サイズは、カドのハンドルをドラッグすると、縦横比を変えずに拡大、縮小できます。目的の文字サイズで指定するときは、上図のように数値を指定します。また、キーボードの< Shift > キーもしくは< Ctrl > キーを押しながらハンドルをドラッグすると、テキストブロックの縦横比を自由に変更しながら文字を拡大、縮小できます。
- テキストブロックを複数使うと、右図のように、縦書きと横書きが混在するラベルを作成することができます。

「テープの置き方」を「縦」に設定した場合



装飾を指定する

- 1 テキストをクリックする
テキストブロックがハンドルつきで表示されます。
- 2 文字ツールバーの機能ボタンで装飾を指定する



文字ツールバー

- B** (太字) 文字を太字にします。
- I** (斜体) 文字を斜体にします。
- U** (下線) 文字に下線をつけます。
- A** (白黒反転) 文字を白黒反転します。
- A** (装飾・装飾なし) 文字に「縁強調」「白抜き」「縁取り」「淡文字」の装飾を設定しません。
- A** (装飾・縁強調) 文字の輪郭を強調します。太いデザインの文字フォントや画数の多い漢字などは、つぶれが生じます。画面上で確認して使ってください。
- A** (装飾・白抜き) 文字を白抜きにします。
- A** (装飾・縁取り) 文字に縁取りをつけます。
- A** (装飾・淡文字) 文字を淡い色にします。
- ☰** (左寄せ) 文字列をブロック内の左側に配置します。
- ☰** (中央合わせ) 文字列をブロック内の中央に配置します。
- ☰** (右寄せ) 文字列をブロック内の右側に配置します。
- ☰** (均等割付) 文字列をブロック内で均等に配置します。
- ☰** (横書き) 文字列を横書きにします。
- ☰** (縦書き) 文字列を縦書きにします。
- ☰** (テキストボックス自動長) 入力文字数に合わせてテキストボックスのサイズを自動調整します。
- ☰** (テキストボックス固定長) テキストボックスのサイズを変更しません。入力文字数が増える場合は、文字サイズが小さくなります。
- ☰** (プロパティ) [文字の設定] 画面を表示し、フォントや装飾などの詳細を設定します。
参照 [P.36](#) 「[文字の設定] 画面」

MEMO

- フォントや装飾は、テキストブロックを右クリックして[プロパティ]を選択しても変更できます。
- 文字サイズは、カドのハンドルをドラッグすると、縦横比を変えずに拡大、縮小できます。また、キーボードの **< Shift >** キーもしくは **< Ctrl >** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、テキストブロックの縦横比を自由に変更しながら文字を拡大、縮小できます。
- 操作を間違えて編集した場合は、操作の直後であれば [編集] メニューの [元に戻す] または **⌘** (元に戻す) で直前の状態に戻すことができます。
- 白黒反転を設定した文字は、他の文字や塗りつぶした図形の上に重ねてください。白黒反転した文字のみでは、画面上で見えなくなります。図形との重ね順は [レイアウト] - [重ね順] - [テキストブロックを前へ] で調整できます。

【文字の設定】画面

【文字の設定】画面は、テキストブロックを選択して (プロパティ) をクリックまたは、テキストブロックを右クリックして「プロパティ」を選択すると表示されます。

【文字の設定】画面

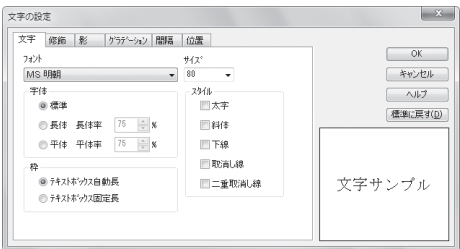


タブをクリックし、それぞれの項目を設定します。

設定の結果は、右側のイメージで確認できます（[間隔] タブは除く）。

設定変更後、[OK] をクリックすると設定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。

【文字】タブ



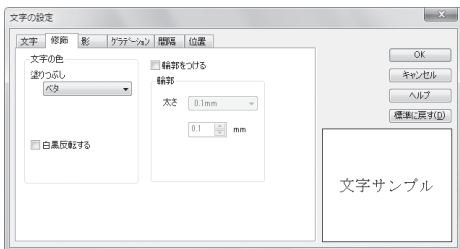
フォント 書体を選択します。

サイズ 文字サイズを選択します。

字体 字体を指定します。長体は縦長に、平体は横長になります。

スタイル 文字のスタイルを指定します。
枠 「テキストボックス自動長」と「テキストボックス固定長」を切り替えます。

【修飾】タブ



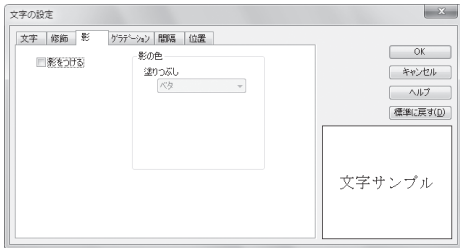
塗りつぶし 文字の表面を選択します。

白黒反転する 文字を白黒反転します。

輪郭をつける 文字に輪郭をつけます。

輪郭 輪郭の太さを選択します。「任意指定」にすると、mmで指定できます。

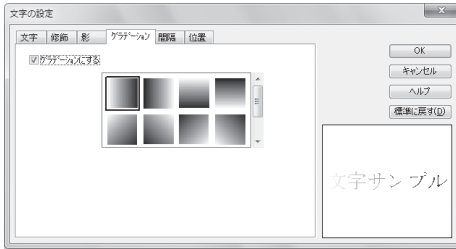
【影】タブ



影をつける 文字に影をつけます。

影の色 影の表面を選択します。

【グラデーション】 タブ



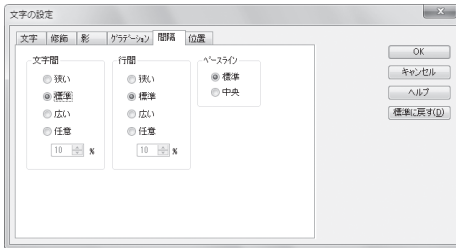
グラデーションにする

..... 文字にグラデーションをつける場合にチェックし、グラデーションのパターンを選択します。

MEMO

グラデーションなどの修飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のツブレが発生することがあります。

【間隔】 タブ



文字間.....文字と文字の間を指定します。
行間.....行と行の間を指定します。
ベースライン.....文字のベースラインの位置を指定します。

【位置】 タブ



ブロックの座標.....テキストブロックの左上の位置を指定します。
ブロックの大きさ...テキストブロックのサイズを表示します。
ここでサイズを変更することはできません。
ブロックの回転角...テキストブロックの回転角度を指定します。

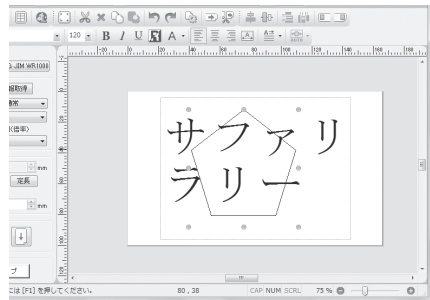
MEMO


【文字の設定】画面で変更した設定内容は、選択したテキストボックスのみに反映されますが、初期設定は変更されません。文字の設定の初期設定を変更したい場合は、【環境設定】画面（【設定】—【環境設定】を選択）で変更できます。【環境設定】での変更内容は、次のテキストブロック挿入時より反映されず。

● 図形の編集

図形は、図形のプロパティ画面で線の種類や表面の塗りつぶしを変更できます。


- 1 図形をクリックする
図形ブロックがハンドルつきで表示されます。



- 2  (プロパティ) をクリックする
「図形の設定」画面が表示されます。

- 3 各タブで装飾を指定する


MEMO

- 塗りつぶしを指定した際、テキストブロックが隠れて見えなくなってしまった場合は、図形ブロックを背面に移動してください。
参照  P.44 「前面・背面に移動する」
- 操作を間違えた場合は、直後であれば [編集] - [元に戻す] で直前の状態に戻すことができます。

!! 注意 !!

塗りつぶしの多い図形を印刷すると、インクのにじみやつぶれが発生することがあります。また、細い線は、カスレや抜けが発生することがあります。

【図形の設定】画面

【図形の設定】画面は、図形を選択して  (プロパティ) ボタンをクリック、図形ブロックをダブルクリックまたは右クリックして【プロパティ】を選択すると表示されます。

【図形の設定】画面

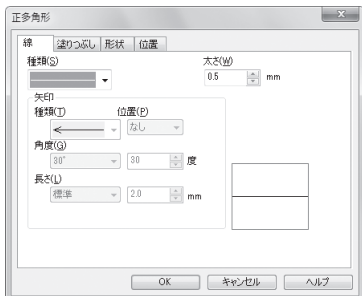


タブをクリックし、それぞれの項目を設定します。

設定の結果は、右側のイメージで確認できます。

設定変更後、【OK】をクリックすると設定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。

【線】タブ



種類.....線の種類を選択します。

太さ.....線の太さを選択します。

矢印.....線を矢印にする場合の形状を指定します。

【塗りつぶし】タブ



種類.....図形の表面の模様を選択します。

[形状] タブ



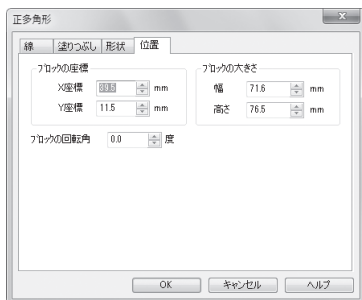
角丸正方形／角丸長方形

..... 角の丸みを%で指定します。

正多角形..... 形状と角数を指定します。星形の場合は比率も指定します。

扇形..... 扇形の形状を選択します。

[位置] タブ



ブロックの座標..... 図形ブロックの左上の位置を指定します。

ブロックの大きさ.... 図形ブロックのサイズを指定します。

ブロックの回転角.... 図形ブロックの回転角度を指定します。

MEMO

[図形の設定] 画面で変更した設定内容は、選択した図形ブロックのみに反映されますが、初期設定は変更されません。図形の設定の初期設定を変更したい場合は、[環境設定] 画面 ([設定] - [環境設定]) を選択) で変更できます。[環境設定] での変更内容は次回の図形挿入時より反映されます。

●ブロックを編集する

テキストブロックや図形ブロックは、位置を移動したり、同じものを複製することができます。また、重なって隠れている部分の前後を入れ換えたり、複数の要素の位置を揃えて並べることができます。

移動する

例：多角形を後ろに移動する

- 1 移動するブロックをクリックする
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

① クリック



- 2 ブロックをドラッグして位置を移動する

サファリ
ラリー

① ドラッグ



MEMO


- 操作を間違えた場合は、直後であれば [編集] - [元に戻す] で直前の状態に戻すことができます。
- ハンドルつきで表示されているブロックは、パソコンのカーソルキーで位置を移動できます。

複製する

ブロックをコピーして貼りつけると、同じものが複製できます。

例：多角形を後ろにコピーする

- 1 複製するブロックをクリックする
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。


- 2  (コピー) をクリックする
ブロックがクリップボードにコピーされます (表示は変わりません)。

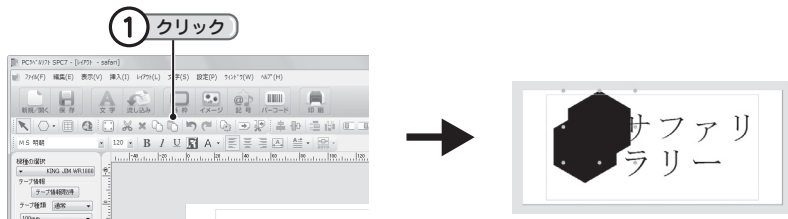
① クリック



次へ進みます



- ③**  (貼り付け) をクリックする
ブロックがラベル上に貼りつけられます。



- ④** 貼りつけたブロックをドラッグして位置を移動する



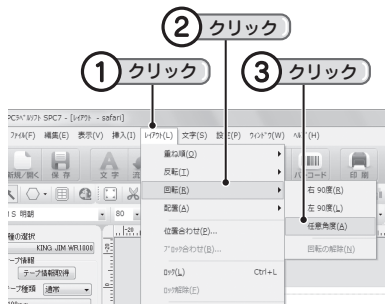
MEMO

- 手順②で [コピー] の代わりに [切り取り] を選択すると、選択したブロックが削除されます。そのあとに [貼り付け] を選択すると、切り取ったブロックを貼りつけることができます。
- 手順③でさらに [貼り付け] を選択すると、複数のブロックを貼りつけることができます。
- 他のソフトでテキストや図形を [コピー] または [切り取り] したあと、このソフト上で [貼り付け] を選択すると、テープ上に貼りつけることができます。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば [編集] - [元に戻す] で直前の状態に戻すことができます。
- [コピー] や [貼り付け] などは、ブロックを選択した状態で [編集] メニューから指定することもできます。また、右クリックをしても表示されます。
- コピーするブロックを選択したあと、パソコンのキーボードの < Ctrl > キーを押しながらブロックをドラッグしてもコピーできます。

回転する

例 : テキストブロックを任意の角度に回転する

- ①** 回転させたいブロックをクリックする
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。
- ②** [レイアウト] - [回転] - [任意角度] を選択する
回転が指定できるようになります (マウスポインターをハンドルに近づけると、矢印に変わります)。



- ③** ハンドルをドラッグして回転させる
マウスを離すと、回転角度が固定されます。



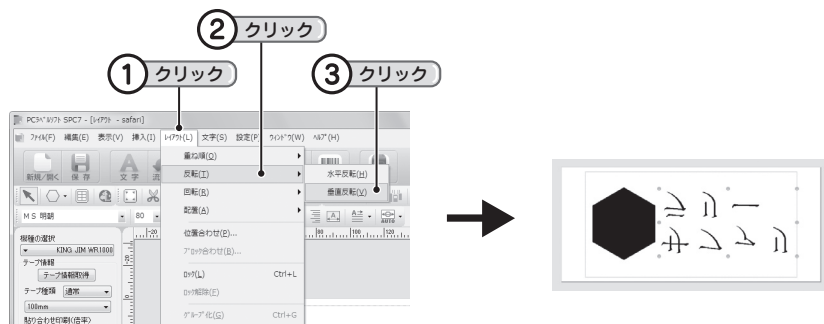
MEMO

- 手順②で [回転] - [右 90 度] や [左 90 度] を選択すると、右または左に 90 度回転します (手順③の操作は不要です)。
- 手順③の操作のあとでさらに回転したいときは、再度手順②の操作をします。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば [編集] - [元に戻す] で直前の状態に戻すことができます。また、[レイアウト] - [回転] - [回転の解除] を選択してももとに戻ります。

反転する

例 : テキストブロックを垂直反転する

- ①** 反転するブロックをクリックする
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。
- ②** [レイアウト] - [反転] - [垂直反転] を選択する
上下に反転します。



MEMO

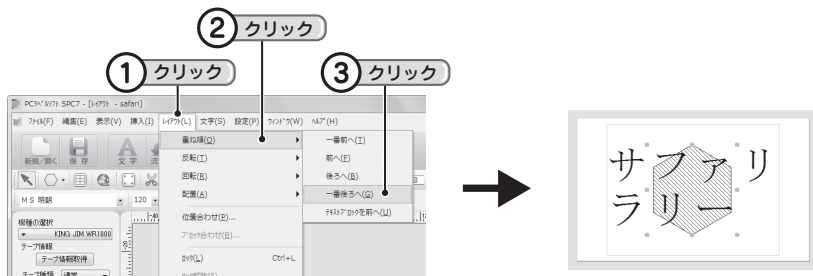
- 手順②で [反転] - [水平反転] を選択すると、左右に反転します。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば [編集] - [元に戻す] で直前の状態に戻すことができます。
- グループ化したブロックおよび流し込み機能による流し込み枠は、[反転] は選択できません。

前面・背面に移動する

ブロックが重なって隠れてしまった場合、それぞれのブロックを背面や前面に移動することができます。

例：図形ブロックをテキストブロックの背面に移動する

- 1 移動するブロックをクリックする**
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。
- 2 [レイアウト] - [重ね順] - [一番後ろへ] を選択する**
図形ブロックがテキストブロックの背面になります。



一番前へ	選択されているブロックを、重なっている図形の最前面に移動します。
前へ	選択されているブロックを、重なっている中で1段階だけ前面に移動します。
後ろへ	選択されているブロックを、重なっている中で1段階だけ背面に移動します。
一番後ろへ	選択されているブロックを、重なっている図形の最背面に移動します。
テキストブロックを前へ	ラベル内にテキストボックスと図がある場合、テキストブロックを図の前面に移動します。

MEMO

- 手順②で「後ろへ」を繰り返しおこなっても同じ結果になります。
- 手順①でテキストブロックを選択し、手順②で「一番前へ」を選択しても同じ結果になります。
- ブロックの前後関係によっては、背面のブロックをマウスで選択できない場合があります。この場合は、前面のブロックを「後ろへ」移動するなどすれば、選択できるようになります。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば「編集」 - 「元に戻す」で直前の状態に戻すことができます。
- 特に設定しない場合、ブロックは作った順に上に重なります。
- 前後の移動コマンドは、ブロックを選択した状態で右クリックをしても表示されます。

位置を揃える

例：各ブロックの上下中央を指定した位置（またはブロック）に揃える

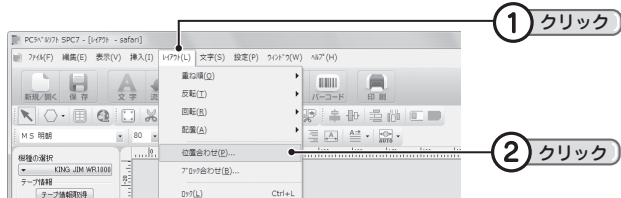
- 1 すべてのブロックをマウスでドラッグして囲む**
すべてのブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。



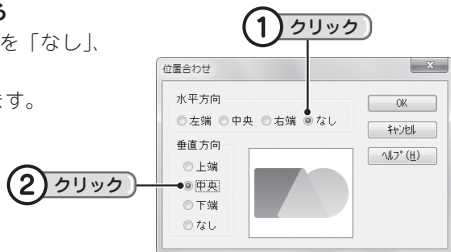
MEMO

パソコンのキーボードの< Shift >キーを押しながら各ブロックをクリックしても、複数のブロックを選択できます。すべてのブロックを選択する場合は、[編集] - [全体選択] を選択します。

- ② [レイアウト] - [位置合わせ] (または [ブロック合わせ]) を選択する
[位置合わせ] 画面 (または [ブロック合わせ] 画面) が表示されます。



- ③ 水平方向と垂直方向の位置を選択する
上下の中央に揃える場合は、水平方向を「なし」、垂直方向を「中央」にします。
中央のラベルイメージの位置が変わります。



- ④ [OK] をクリックする
レイアウト編集画面に戻ります。

- ⑤ 基準とする位置 (またはブロック) をクリックする
選択している他のブロックが基準に対し、指定した条件で揃います。



MEMO

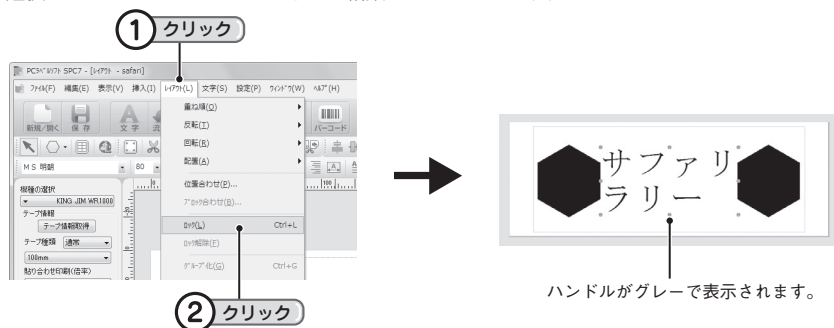
- 各ブロックをラベルの上下中央で揃えるときは、手順②で [レイアウト] - [配置] - [上下中央] を選択します。[配置] コマンドには、この他、次の機能があります。
 - 左右中央 ラベルの左右中央に揃えます (テーブル長 [定長] 設定時のみ)。
 - 水平等間隔 左右の間隔がすべて同じになるよう配置します (ブロックが3つ以上選択されている場合のみ)。
 - 垂直等間隔 上下の間隔がすべて同じになるよう配置します (ブロックが3つ以上選択されている場合のみ)。
 - テーブルの先端 選択したブロックを印刷範囲 (赤い点線) 上下中央の左端に配置します。
 - テーブルの末端 選択したブロックを印刷範囲 (赤い点線) 上下中央の右端に配置します。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば [編集] - [元に戻す] で直前の状態に戻すことができます。
- [位置合わせ] や [ブロック合わせ] は、ブロックを選択した状態で右クリックをしても表示されます。

ブロックをロックする

テキストブロックや図形ブロックをロックすると、そのブロックが編集できなくなります。誤って変更すると困る内容は、ロックしておくことで安心です。

1 ロックしたいブロックをクリックする
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

2 [レイアウト] - [ロック] を選択する
選択しているブロックがロックされ、編集できなくなります。



MEMO

- ロック中のブロックは、選択したときのハンドルがグレーで表示されます。
- ロックを解除するには、ブロックを選択し、[レイアウト] - [ロック解除] を選択します。

ブロックをグループ化する

複数のブロックをグループ化すると、一体のブロックとして編集できるようになります。まとめて位置やサイズを変更したい場合などに便利です。

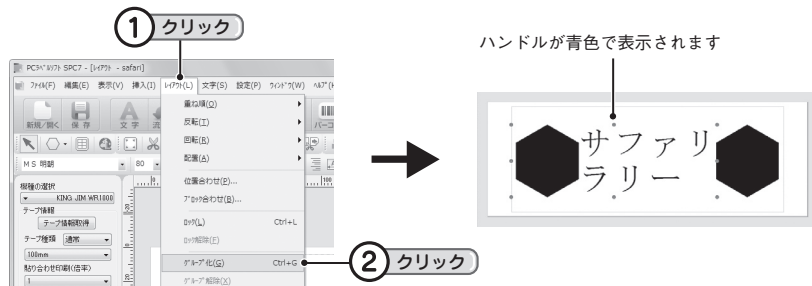
1 グループ化したいブロックをマウスでドラッグして囲む
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。



MEMO

- パソコンのキーボードの < Shift > キーを押しながら各ブロックをクリックしても、複数のブロックを選択できます。
- すべてのブロックを選択する場合は、[編集] - [全体選択] で選択できます。

- 2** [レイアウト] - [グループ化] を選択する
選択しているブロックがグループ化されます。




MEMO

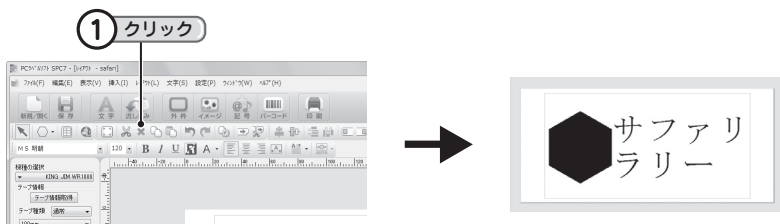
- グループ化したブロックは、選択したときのハンドルが青色で表示されます。
- グループ化したブロックは、反転することができません。
- グループを解除するには、ブロックを選択し、[レイアウト] - [グループ解除] を選択します。
- [グループ化] は、ブロックを選択した状態で右クリックをしても表示されます。

削除する

例：後ろの図形ブロックを削除する

- 1** 削除するブロックをクリックする
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

- 2**  (削除) をクリックする
選択していたブロックが削除されます。



MEMO

- 手順**2**でパソコンのキーボードの < Delete > キーを押しても削除できます。
- 手順**2**で [編集] - [削除] または [編集] - [切り取り] を選択しても削除できます。
- すべてのブロックを削除する場合は、[編集] - [全体選択] で全ブロックを選択してから削除します。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば [編集] - [元に戻す] で直前の状態に戻すことができます。
- [削除] は、ブロックを選択した状態で右クリックをしても表示されます。

● 流し込み機能

流し込み操作の流れ

SPC7では、あらかじめ作っておいたデータの項目をラベルにレイアウトして印刷する機能があります。住所録からあて名ラベルを作るときなどに便利です。

1 データ作成

流し込み用のデータは、データ作成画面で作成します。

SPC7でデータ作成画面を開き、住所など必要な項目を入力します。

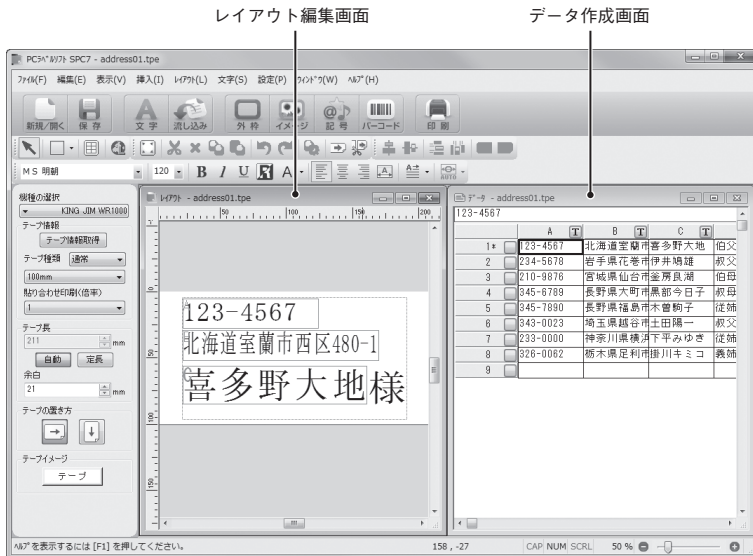
データ作成画面に他のアプリケーションで作った「XLS形式」や「XLSX形式」、「CSV形式」のデータを読み込むこともできます。

参照 P.49「データを新規作成する」

2 流し込み（レイアウト操作）

データ作成画面のデータをレイアウト編集画面のラベル上に列単位で流し込み、レイアウトします。

参照 P.52「データを流し込む」



MEMO

レイアウト編集画面とデータ作成画面のウィンドウは、[ウィンドウ] - [上下に並べて表示] / [左右に並べて表示] のメニューで、簡単に並びを変えることができます。作成するラベルのデザインに合わせ、編集しやすい並びにしてください。

3 印刷

印刷します。

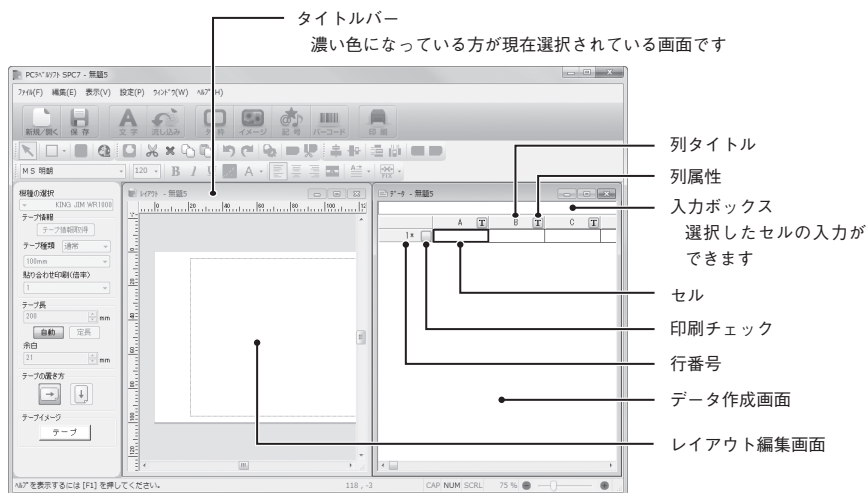
データが行ごとに流し込まれ、複数枚のラベルが連続して印刷されます。

参照 P.53「データを流し込み印刷する」

データを新規作成する

データ作成画面を開き、流し込み用のデータを新規に作成します。

- 1 「新規 / 開く」画面で、「新規作成」の「流し込み」を選択する
「流し込み（横書き）」または「流し込み（縦書き）」を選択し、[OK] をクリックします。
参照 P.19 「新規作成」
- 2 「流し込みデータの新規作成」をクリックする
表示される「流し込み」画面で「流し込みデータの新規作成」をクリックします。
データ作成画面が表示されると、データを入力できます。
参照 P.51 「データを入力する」



セル	データを入力する枠です。選択しているセルには太い枠がつかます。
列タイトル	その列のタイトルをつけられます。 タイトルをつけない場合は、A、B…となります。
列属性	その列のデータの種類を示します。属性には、以下の種類があります。 <input type="text"/> (テキストデータ) <input type="checkbox"/> (イメージデータ) <input type="checkbox"/> (バーコード) <input type="checkbox"/> (カスタマバーコード) 参照 P.57 「テキスト以外のデータを入力する」
行番号	何行目かを示します。選択している行には「*」がつかます。
印刷チェック	流し込み印刷時に、チェックマークをつけた行のみ印刷することができます。

MEMO

- データ作成画面は、レイアウト編集画面で [ファイル] - [流し込みデータ] - [新規作成] を指定しても開くことができます。
- カスタマバーコードの表記方法や住所表示番号については、「カスタマバーコードについて」を参照してください。
参照 P.72 「カスタマバーコードについて」

既にあるデータを読み込む

既に SPC7 や市販のアプリケーションで作ってあるデータを読み込んで利用することができます。

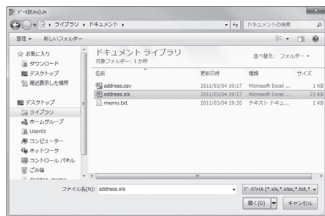
1 [ファイル] - [流し込みデータ] - [読み込み] を選択する

[データ読み込み] 画面が表示されます。



2 ファイルを指定して [開く] をクリックする

[データ読み込み] 画面にファイルがない場合は、フォルダを切り替えて保存した場所を表示させます。

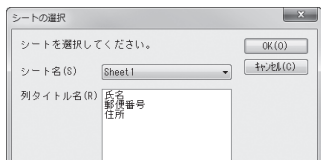


3 Excel ファイルの場合は、シート名を選択し、[OK] をクリックする

「CSV 形式」、「TXT 形式」の場合はこの手順は不要です。

データ作成画面が表示され、データを流し込みます。

参照 P.52 「データを流し込む」



MEMO

- 読み込めるデータは、「XLS 形式」、「XLSX 形式」、「TXT 形式」、「CSV 形式（カンマ区切りのテキスト）」のファイルです。
- 読み込めるデータは、行数が最大 32,767 行、列数が最大 64 列です。
- 既にデータ作成画面にデータが入力されているときは [読み込み方法の選択] 画面が表示されますので、読み込み方法を選択してください。
- Excel ファイルを読み込む場合は、以下の点に注意してください。
 - 読み込みできるデータは、Microsoft Excel 2002/2003/2007/2010 のファイルです。
 - シート名、列のタイトルの 1 文字目にスペースは使用できません。
 - データは 2 行目から認識します。1 行目には A 1 から列のタイトルを入力してください。
 - 1 行目の列のタイトルは、列タイトルとして読み込まれます。
 - タイトルがついていても、データの入力されていない列は読み込まれません。
 - Excel の表示形式で指定した日付や通貨表示等は読み込まれません。
 - Excel ファイルの計算式は反映されません。
 - 数値データは、桁数が多いと指数表示や異なる値で読まれる場合があります。Excel でセルの表示形式を文字列として入力したデータをお使いください。
 - セルの表示形式が「数値」のものとして「文字列」のものが複雑に混在しているデータを読み込む場合、一部のセルの値が読み飛ばされることがあります。このようなデータを読み込む際には、そのシートを「CSV 形式」で保存してから使用してください。
 - 保存時に既存のファイル名を指定した場合、ファイルそのものが上書きされます。
 - セル内に改行コードを含むデータは、正しく読み込むことができません。


!! 注意 !!

「XLS 形式」、「XLSX 形式」のデータを読み込むには、各ファイル形式に対応した Microsoft Excel がパソコンにインストールされている必要があります。

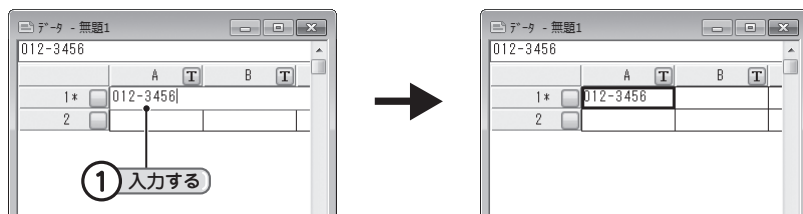
データを入力する

データ作成画面にデータを入力します。

例：あて名ラベル用の住所データを作る

- 1 データ作成画面が表示されていないときは [ファイル] - [流し込みデータ] - [新規作成] を選択する
参照  P.49 「データを新規作成する」

- 2 1 行目の最初の列をダブルクリックしてデータを入力する
ダブルクリックすると、セル内にカーソルが表示されて入力できます。
入力後 < Enter > キーを押すか、入力したセル以外の場所をクリックすると、自動的に 2 行目が表示されます。




MEMO

- データ入力は、セルを選択してから [編集] - [データ入力] を選択しても入力できます。また、入力ボックスでも入力できます。
- セル内に改行を入力することはできません。
- Unicode を使用できますので、多国語のテキストデータにも対応します。

- 3 同様に、2 列目以降を入力し、1 行目を完成する

MEMO


文字（テキストデータ）以外を入力する場合は列属性を変更します。

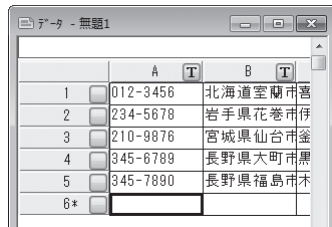
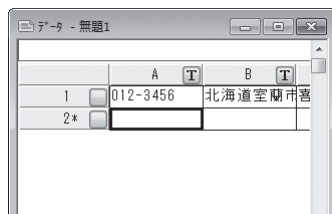
参照  P.57 「テキスト以外のデータを入力する」

- 4 同様に、2 行目以降を入力し、データを完成する
作ったデータはラベルに流し込んで印刷できます。

- 5 データ流し込み作業をおこない、ラベルを印刷する

参照  P.52 「データを流し込む」

参照  P.53 「データを流し込み印刷する」

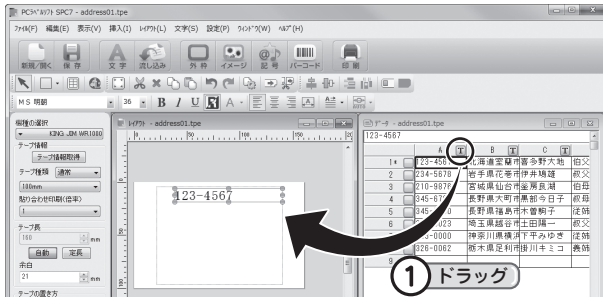


データを流し込む

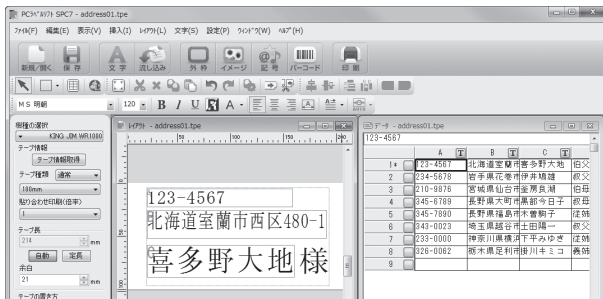
作ったデータや読み込んだデータをラベル上にレイアウトすると、自動的にデータが流し込まれます。

例：あて名ラベルをレイアウトする

- 1 ラベルに流し込みたい列の属性アイコンをドラッグし、ラベル上に移動する
属性アイコンにマウスカーソルを合わせてドラッグすると、カーソルが手の形に変わります。
ラベル上にデータが流し込まれ、流し込み枠が表示されます。



- 2 同様に、必要な列の属性アイコンをドラッグする
- 3 流し込み枠の位置とサイズを変更してレイアウトする
移動やサイズ変更は、テキストブロックや図形ブロックの操作と同じです。



MEMO

データの流し込みは、レイアウト編集画面を選択した状態で操作ガイドバーの「流し込み」または「挿入」→「流し込み枠」を選択し、表示される「流し込みデータ選択」画面で列を選択して「OK」をクリックしても流し込めます。

!! 注意 !!

- 流し込み枠の文字サイズは、流し込み枠を超える大きさに設定することはできません。流し込み枠を超える大きさに設定する場合は、流し込み枠のハンドルをドラッグして流し込み枠の大きさを変更してください。
- 流し込みの場合、文字数に関わらず流し込み枠の大きさは設定した位置とサイズで固定されます。文字数が多い場合、文字の横幅や文字間をつめて流し込み枠内にデータが入るように処理されます。
- 流し込み枠内で改行・折り返しはできません。

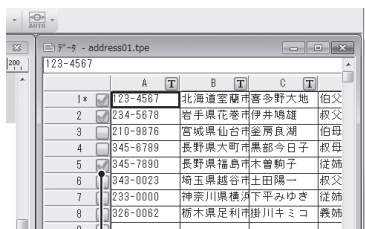
データを流し込み印刷する

- 1 印刷する行に印刷チェックマークをつける
印刷する各行番号の右側のボックスをクリックしてチェックマークをつけます。
すべての行を印刷するときはチェックマークは不要です。

MEMO

チェックマークは、データ作成画面で右クリックしたときに表示される [印刷チェック] メニューでも指定できます。

あらかじめ、目的の行のセルを範囲選択しておき、「選択部分をチェック」を指定することで、選択しているセルの行に一括でチェックを付ける / 外すことができます。



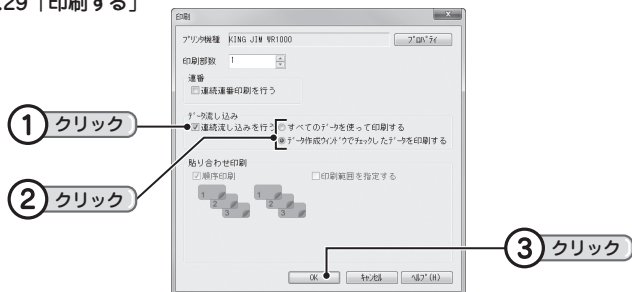
- 2 レイアウト編集画面をクリックして選択し、[印刷] をクリックする
[印刷] 画面が表示されます。



!! 注意 !!

[印刷] は、レイアウト編集画面が選択されていないとクリックできません。

- 3 データ流し込み印刷条件を指定して印刷する
「連続流し込みを行う」にチェックマークをつけます。
印刷チェックマークをつけた行のみを印刷するときは、「データ作成ウィンドウでチェックしたデータを印刷する」を選択してから印刷します。
すべての行を印刷するときは、「すべてのデータを使って印刷する」を選択してから印刷します。
参照 P.29 「印刷する」



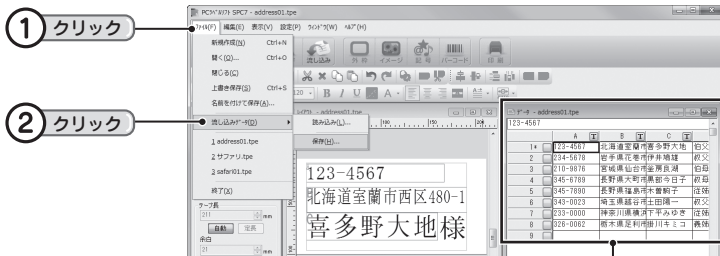
データを保存する

作ったデータは、データのみを保存する方法（「XLS形式」、「XLSX形式」、「TXT形式」、「CSV形式」と、レイアウトしたラベルごと保存する方法（ラベルデータの保存）があります。

データのみ保存する

データ作成画面に入力したデータのみ保存します。

- 1 [ファイル] - [流し込みデータ] - [保存] を選択する
[データ保存] 画面が表示されます。



データ作成画面のデータのみ保存します

- 2 ファイル名を入力して [保存] をクリックする
データ入力画面部分が保存されます。
「保存する場所」のフォルダを切り替えて保存場所を変更することもできます。



MEMO

- 保存できるファイルの形式は、「XLS形式」、「XLSX形式」、「TXT形式」、「CSV形式（カンマ区切りのテキスト）」のファイルです。
- 「XLS形式」、「XLSX形式」で保存すると、列タイトルが1行目のデータとして保存されます。「CSV形式」、「TXT形式」の場合、列タイトルは保存されません。
- Microsoft Excel ドライバの仕様により、特定のコードを列タイトルに含むデータの保存もしくは読み込みにおいて、エラーになる場合があります。
- 保存したデータを読み込むときは、[ファイル] - [流し込みデータ] - [読み込み] でファイルを指定します。
- [ファイル] - [流し込みデータ] - [保存] では、レイアウトしたラベルは保存されません。

すべて（データとレイアウトしたラベル）を保存する

ラベルを保存する操作と同様、[ファイル] - [上書き保存] または [名前を付けて保存] で保存すると、ラベルレイアウトにデータを含めた状態で保存されます。

参照 P.32 「文書を保存する」

行や列を挿入する

- 1 挿入位置の直後の行または列をクリックして選択し、[編集] の [行挿入] または [列挿入] を選択する

行または列が挿入されます。



行や列を削除する

- 1 削除する行または列をクリックして選択し、[編集] の [行削除] または [列削除] を選択する

選択した行または列が削除されます。



MEMO

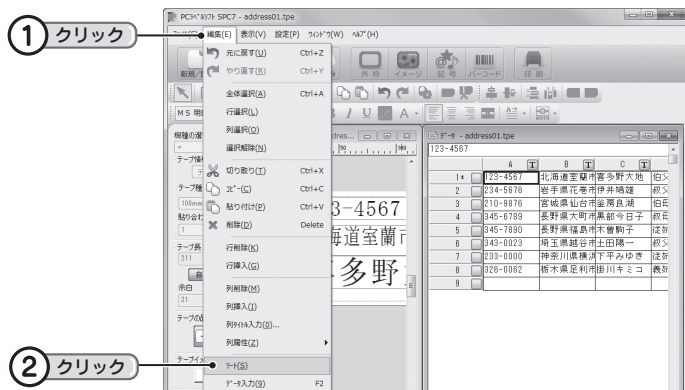
- [貼り付け] コマンドでデータを貼りつけると、そのセルのもとのデータは削除され、貼りつけたデータになります。
- 行全体を選択して [削除] すると、その行そのものが削除されます（行削除と同様の結果になります）。列全体を選択して [削除] しても、セル内のデータのみ削除し、列は空白のまま残ります。

行を並び換える（ソート）

行の表示順を郵便番号順やフリガナの読み順などに並び換えることができます。

例：郵便番号が数字順（JISコード順）になるように並び換える

- 1** [編集] - [ソート] を選択する
[ソート] 画面が表示されます。



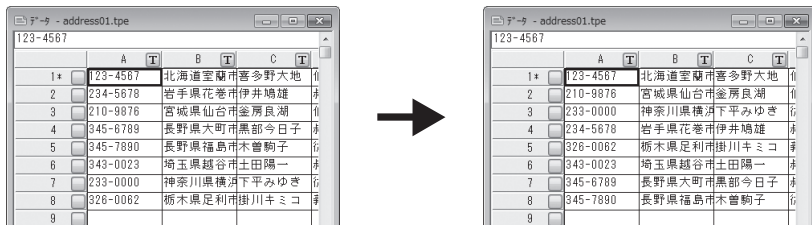
- 2** 「並び」と「優先順位」を選択する
「並び」では並び換える順番を選択します。「優先順位」では、並び換えのキーワードになる列を選択します。
ここでは、郵便番号が入力してある「A列」を選択します。



MEMO

第2優先、第3優先は、第1優先の列に同じ内容のセルがあるときのキーワードになります。

- 3** [OK] をクリックする
データが並び換えられます。











テキスト以外のデータを入力する

データには、住所や名前などのテキスト（文字）だけでなく、イメージやバーコードなどのデータを入力することができます。



テキスト以外のデータを入力するには、列属性を変更する必要があります。

列属性を変更する

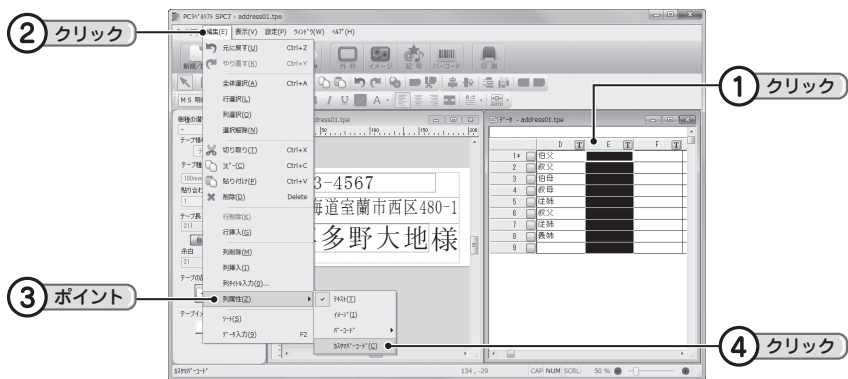
変更できる列属性には、以下のものがあります。

 (テキスト) 参照  P.51	文字データを表示できます。	
	データ作成画面	住所や名前などの文字を入力します。
	レイアウト編集画面	データ作成画面で入力した内容を表示します。
 (イメージ) 参照  P.58	画像などのイメージを表示できます。	
	データ作成画面	画像などのイメージデータの保存先を指定します。
	レイアウト編集画面	データ作成画面で指定したイメージを表示します。
 (バーコード) 参照  P.59	バーコードを表示できます。	
	データ作成画面	指定したバーコードの数字（または英数字）を入力します。
	レイアウト編集画面	データ作成画面で入力したバーコードを表示します。
 (カスタマバーコード) 参照  P.59	カスタマバーコードを表示できます。	
	データ作成画面	カスタマバーコードの書式で数字を入力します。
	レイアウト編集画面	データ作成画面で入力したカスタマバーコードを表示します。

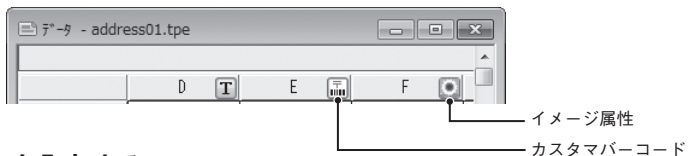
MEMO

- 指定できるバーコードの種類は、[挿入] - [バーコード] で指定するバーコードと同じです。
参照  P.67 「バーコードを挿入する」
- カスタマバーコードは、[挿入] - [カスタマバーコード] で指定するカスタマバーコードと同じ要領で指定します。
参照  P.72 「カスタマバーコードを挿入する」
- カスタマバーコードは 20 桁まで入力可能です。21 桁以上入力されたセルを指定すると、21 桁目以降の数字はカスタマバーコードに反映されません。

- 1** 属性を変更する列をクリックして選択し、[編集] - [列属性] で属性を選択する
変更すると、列の属性アイコンが変わります。
バーコードのときは、バーコードの種類も選択します。



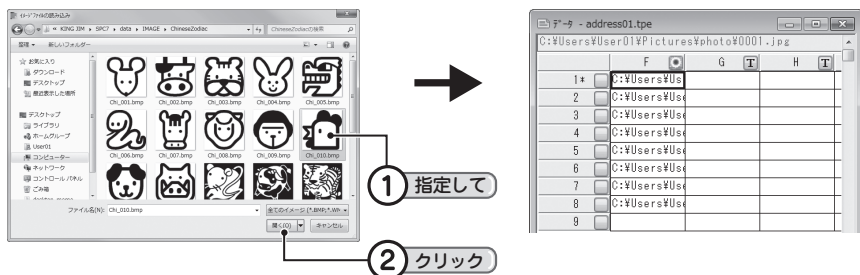
- 2** 同様の操作で他の列も変更する



イメージファイルを入力する

- 1** 列属性をイメージに変更する
[編集] - [列属性] - [イメージ] を選択します。
参照 P.57 「列属性を変更する」

- 2** ファイルを指定する
セルをダブルクリックすると、[イメージファイルの読み込み] 画面が開いてイメージファイルを指定できます。
セル内には、イメージデータの保存先とファイル名が表示されます。




[イメージファイルの読み込み] 画面にファイルがない場合は、フォルダを切り替えて保存場所を表示させます。

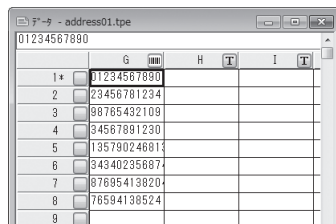
!! 注意 !!








イメージファイルを指定した保存先から移動や削除をおこなうと、反映できなくなります。

バーコードを入力する

- 1 列属性をバーコードに変更する**
[編集] - [列属性] - [バーコード] でバーコードの種類を選択します。
参照  P.57 「列属性を変更する」


- 2 データを入力する**
バーコードの数字を入力します。
レイアウト編集画面に流し込むとバーコードに変換されます。



	G	H	I	T
1*	01234567890			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				

MEMO


バーコードの種類により入力できる桁数や文字が異なります。詳細は「バーコードの設定項目」を参照してください。

参照  P.70 「バーコードの設定項目」

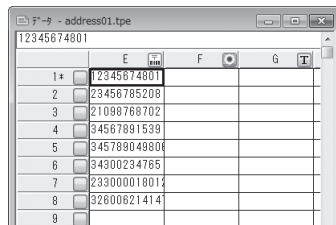
!! 注意 !!








セル内に改行を入力することはできません。

カスタマバーコードを入力する

- 1 列属性をカスタマバーコードに変更する**
[編集] - [列属性] - [カスタマバーコード] を選択します。
参照  P.57 「列属性を変更する」


- 2 データを入力する**
カスタマバーコードの数字を入力します。
レイアウト編集画面に流し込むとカスタマバーコードに変換されます。
カスタマバーコード入力時、郵便番号の一（ハイフン）は入力しないでください。



	E	F	G	T
1*	12345674801			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				

MEMO

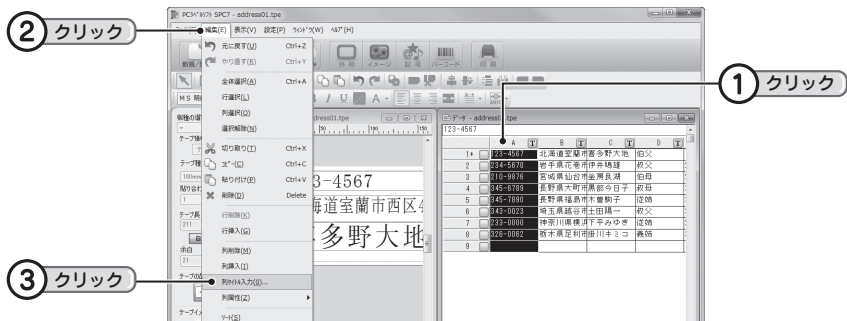
カスタマバーコードの表記方法や住所表示番号については、「カスタマバーコードを挿入する」を参照してください。

参照  P.72 「カスタマバーコードを挿入する」

列のタイトルを変更する

分類しやすいように列のタイトルを変更できます。

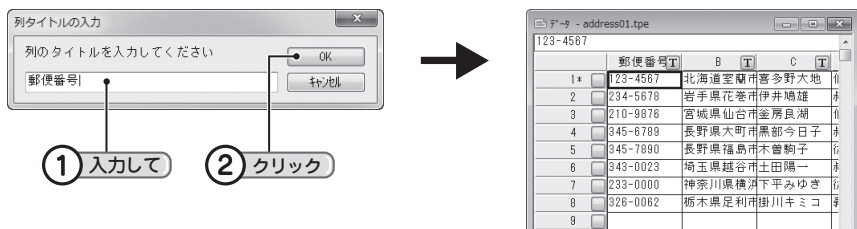
- 1 A列をクリックして選択し、[編集] - [列タイトル入力] を選択する
[列タイトルの入力] 画面が表示されます。



MEMO

[列タイトルの入力] コマンドは、列を選択した状態で右クリックをしても表示されます。

- 2 列タイトルを入力して [OK] をクリックする
列タイトルが変更されます。



- 3 同様の操作で B 列以降も変更する

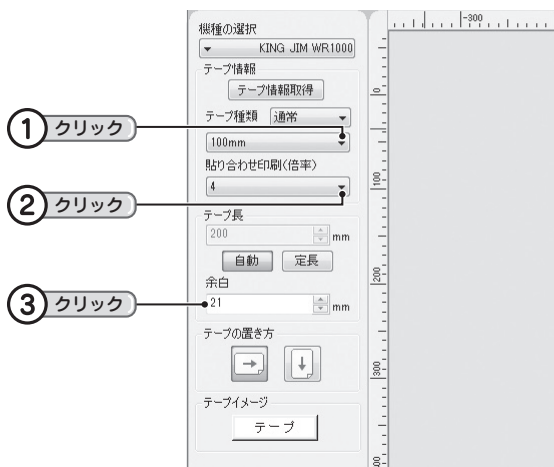
●貼り合わせラベルを印刷する(貼り合わせ印刷)

ラベルを貼り合わせて、2～4倍の幅のラベルを作ることができます。

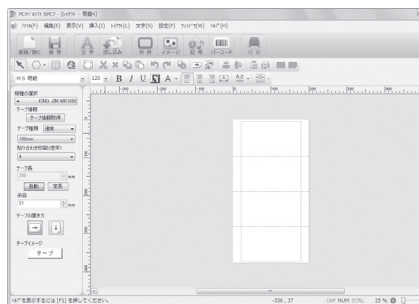
貼り合わせラベルを作成する

貼り合わせ印刷をするには、テープ幅の倍率を指定します。

- 1 テープ設定ツールバーでテープ幅と倍率、余白を設定する
[倍率]の項目では貼り合わせたい枚数(1～4)を設定します。



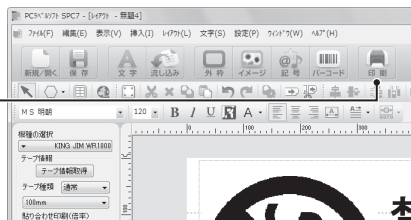
- 2 ラベルの内容を入力する
「新規/開く」画面で設定したラベルの大きさに合わせて文字や記号、イラストなどを入力します。



貼り合わせラベルを印刷する

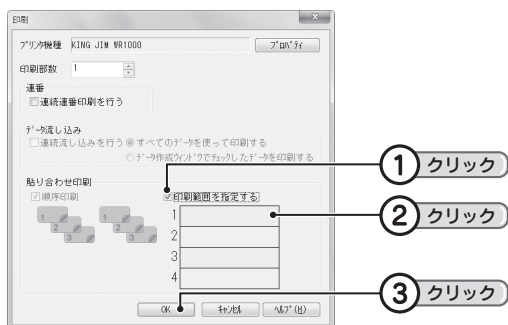
- 1** 操作ガイドバーの【印刷】をクリックする
【印刷】画面が表示されます。

1 クリック



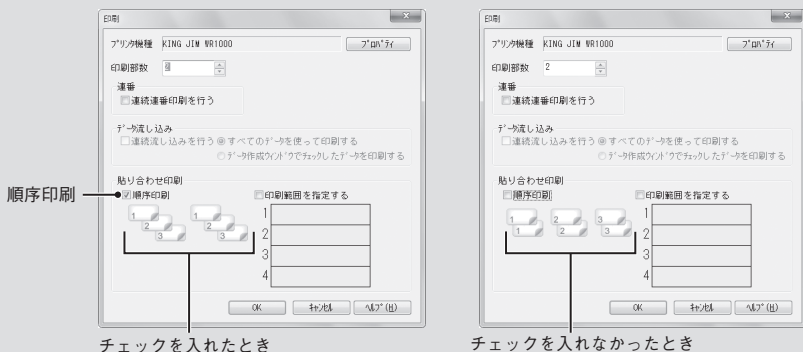
- 2** 印刷を指定する

全体を印刷する場合はそのまま【OK】をクリックします。
ラベルの一部分を印刷する場合は、「印刷範囲を指定する」にチェックマークをつけ、印刷するラベルをクリックして指定します。



MEMO

- 貼り合わせるラベルそれぞれを、同じ幅の違う色のテープに印刷するとカラフルなラベルを作れます。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換えるときにはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。
- 順序印刷の項目は、貼り合わせラベルの印刷時に「印刷部数」で複数枚数を指定したときに設定できます。チェックマークをつけることで、1列目、2列目…とデータ順に印刷します。チェックマークをはずすと、同じ列を指定枚数分続けて印刷してから次の列を印刷します。

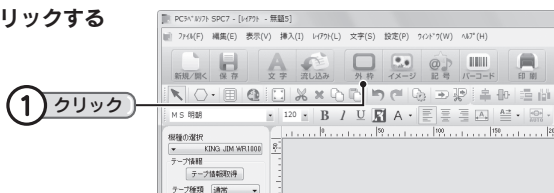


- 貼り合わせラベルを貼り合わせたととき、多少のズレが生じることがあります。

●外枠を挿入する

SPC7には、いろいろな外枠があり、一覧から選択して挿入できます。

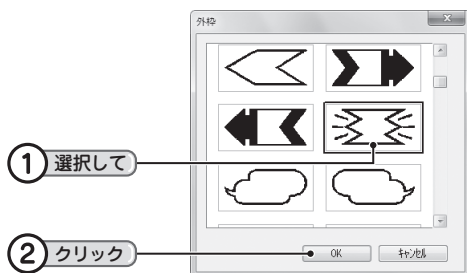
- 1 操作ガイドバーの【外枠】をクリックする
【外枠】画面が表示されます。



MEMO

【外枠】画面は、【挿入】 - 【外枠】を選択しても開きます。

- 2 挿入する外枠を選択し、【OK】をクリックする
外枠がラベル幅いっぱいのサイズで挿入されます。



- 3 サイズや位置を決定する
ハンドルつきで表示されている状態で、サイズや位置を変更できます。
外枠以外の場所をクリックすると、外枠のサイズや位置が確定します。



●イメージファイルを挿入する

市販のアプリケーションで作成したイメージファイル（BMP、WMF、EMF、JPG、TIF 形式のファイル）を挿入できます。

- 1 操作ガイドバーの【イメージ】をクリックする
[イメージファイルの読み込み] 画面が表示されます。

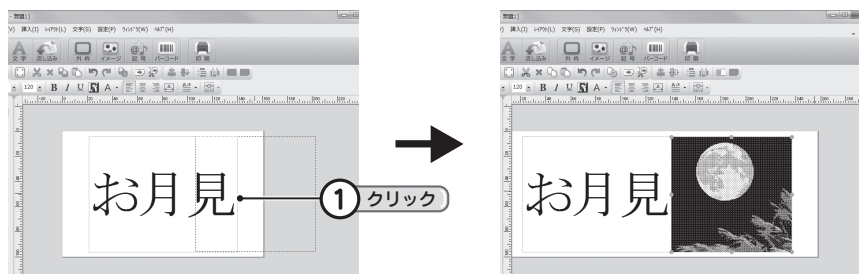
1 クリック



- 2 挿入するイメージファイルを選択し、【開く】をクリックする
[イメージファイルの読み込み] 画面にファイルがない場合は、フォルダを切り替えて読み込む場所を表示させます。
カーソルがイメージの枠になります。



- 3 イメージを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする
イメージが挿入されます。
イメージは自動的に白黒（2値）の画像に変換されます。



- 4 サイズや位置を決める
ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。
イメージ以外の場所をクリックすると、イメージのサイズや位置が確定します。

MEMO

- 挿入できるイメージファイルは BMP、WMF、EMF、JPG、TIF 形式のファイルです。ただし、場合によりイメージファイルが挿入できないことがあります。
- イメージをダブルクリックして開く [イメージ] 画面ではイメージファイルの枠や形などを設定できます。

[イメージ] 画面

イメージをダブルクリックすると、[イメージ] 画面が表示されます。

タブをクリックし、それぞれの項目を指定します。指定の結果は、右側のイメージで確認できます。指定変更後、[OK] をクリックすると指定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。

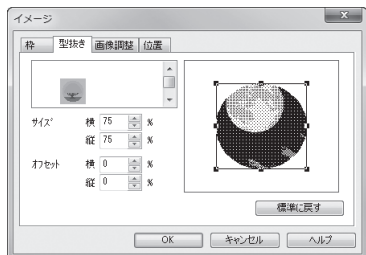
[枠] タブ



枠をつける.....イメージに枠をつけるときにチェックします。

太さ 枠の太さを選択します。

[型抜き] タブ



種類..... 円形・星型・ハートなどイメージを型抜きする図形を選択します。

サイズ..... 型抜き図形の縦横の比率を選択します。

オフセット... 型抜きの位置を選択します。

[画像調整] タブ



減色方式..... イメージファイルがカラーデータの場合に2値化(白/黒への減色)方法を選択します。

しきい値..... カラーデータを近似色減色する場合の白/黒の境界値を選択します。

[位置] タブ



ブロックの座標..... 図形ブロックの左上の位置を指定します。

ブロックの大きさ..... 図形ブロックのサイズを指定します。

ブロックの回転角..... 図形ブロックの回転角度を指定します。

●記号を挿入する

SPC7には、いろいろな記号があり、一覧から選択して挿入できます。

- 1 操作ガイドバーの【記号】をクリックする
【記号】画面が表示されます。

1 クリック



MEMO

【記号】画面は、【挿入】 - 【記号】を選択しても開きます。

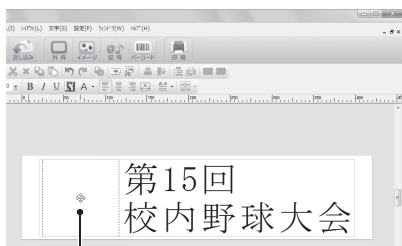
- 2 各タブの中から挿入する記号を選択し、
【OK】をクリックする
カーソルが記号の枠になります。

1 選択して

2 クリック



- 3 記号を挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする
記号が挿入されます。



1 クリック



- 4 サイズや位置を決める
ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。
記号以外の場所をクリックすると、記号のサイズや位置が確定します。

●バーコードを挿入する

数字や文字をバーコードにして印刷できます。

① 操作ガイドバーの【バーコード】をクリックする

【バーコード】画面が表示されます。

① クリック



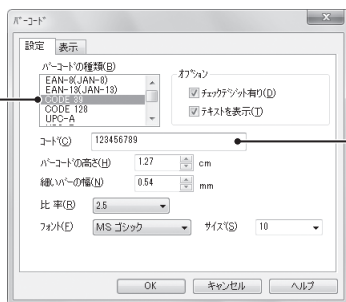
MEMO

【バーコード】画面は、【挿入】 - 【バーコード】を選択しても開きます。

② バーコードの種類を選択し、コードを入力する

「オプション」などの項目も指定します。

① 選択して



② 入力する

MEMO

- バーコードの種類により設定できる項目が異なります。表示される項目を設定してください。
- バーコードの種類により入力できる桁数や文字が異なります。詳細は「バーコードの設定項目」を参照してください。
参照 [P.70](#) 「バーコードの設定項目」
- QR CODE の場合、携帯電話に対応した電話帳や URL などを入力する機能があります。また、テープ幅や設定項目により入力可能文字数が異なります。詳細は「QR CODE について」を参照してください。
参照 [P.69](#) 「QR CODE について」

③ 【OK】をクリックする

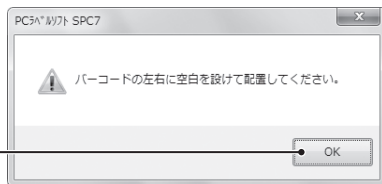
マージン確認画面が表示されます。

① クリック



次へ進みます

- 4** [OK] をクリックする
カーソルがバーコードの枠になります。



1 クリック

MEMO

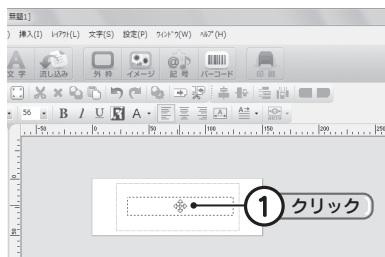
このメッセージ画面を表示しないように設定する場合は、表示タブのチェックを解除してください。



!! 注意 !!


バーコードを挿入するときは、左右に空白（マージン）を確保してください。
QR CODE 指定時は上下左右の空白（マージン）が必要になります。

- 5** バーコードを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする
バーコードが挿入されます。



- 6** サイズや位置を決める
ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。
バーコード以外の場所をクリックすると、バーコードのサイズや位置が確定します。

MEMO

- バーコードブロックを小さくしすぎると、空白になったり、となり、バーコードが表示・印刷されなくなります。バーコードが表示される大きさにしてください。
- バーコードの数値や種類を変更する場合は、バーコードをダブルクリック（またはバーコードを右クリックして [プロパティ] を選択）して [バーコード] 画面を表示し、内容を変更します。
- 印刷したバーコードは、バーコードリーダーで読み取れることを確認してから、ご使用ください。バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒インクのテープのご使用をおすすめします。
- お持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、[バーコード] 画面を表示し、設定を変更するなどして再度確認してください。
- バーコードを回転したり、縦横の比率を極端に変えたり、サイズを小さくすると、バーコードリーダーで読み取れないことがあります。
- 外側の囲み枠は印刷されません。

QR CODE について

QR CODE の場合、設定項目により入力可能文字数が異なります。

QR CODE の最大入力可能文字数：

機種	テープ幅	モデル1		モデル2	
		全角	半角	全角	半角
WR1000	100	299	692	346	692

※ 上表は、「誤り訂正レベル=7%」、「シンボルサイズ=小」と設定した場合の文字数です。
この文字数は入力可能な文字数であり、読み取りができることを保証するものではありません。

QR CODE には、携帯電話に対応した電話帳や URL などを入力する機能があります。
それぞれ表示される専用画面からコードの内容を簡単に入力できます。

MEMO

- 携帯電話向けの QR CODE では「モデル2」に設定してください。
- QR コードの対応文字は、Shift-JIS コードの文字のみです。

電話帳の場合：

[バーコード] 画面でタイプを選択し、[電話帳] をクリックします。
表示される [電話帳登録] 画面で必要な項目を入力します。



MEMO

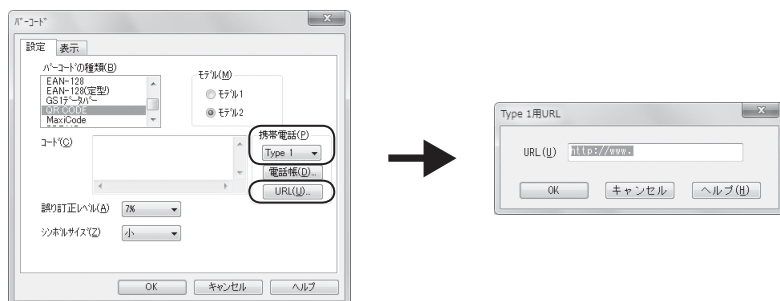
- [Type 1] は docomo 向け、[Type 2] は au 向け、[Type 3] は SoftBank 向けです (2011 年 4 月現在)。
- 誕生日や住所など、携帯電話の機種によっては利用できない場合があります。
- 入力できる文字には、以下の制限があります。
名前の「読み」にはカタカナを入力してください。
電話番号には半角 [#、*、0~9、-] を入力してください。ただし、Type 1 では、「-」が使用できません。Type 2 では、「P」が使用できます。
アドレスには半角英数字を入力してください。また、Type 2、Type 3 では、「¥ [] ' ' () | ` { } < > # , ; :」が使用できません。

各項目に入力できる文字数は以下のとおりです。

項目	文字数
名前	全角 12 文字、半角 24 文字
読み	(Type 1 のみ 氏：全角 6 文字、半角 12 文字 名：全角 6 文字、半角 12 文字)
TEL	半角 24 文字
E-mail	半角 64 文字 (Type 1 のみ 半角 50 文字)
TEL-AV	半角 24 文字
メモ	全角 32 文字、半角 64 文字
住所	全角 16 文字、半角 32 文字

URL の場合：

[バーコード] 画面でタイプを選択し、[URL] をクリックします。
表示される [URL] 画面で URL を入力します。



MEMO

[Type 1] は docomo 向け、[Type 2] は au 向け、[Type 3] は SoftBank 向けです (2011 年 4 月現在)。

バーコードの設定項目

!! 注意 !!

- 次次の「テキスト」とは、バーコードの下に表示される数字などを指しています。
- 全バーコードに対し、高さは 0.1 ~ 100cm、細いバーの幅は 0.1 ~ 25mm が指定可能です。但し、バーコードリーダーでの読み取り保証範囲ではありませんのでご注意ください。
- 次次の QR CODE の文字数は、「誤り訂正レベル = 7%」、「シンボルサイズ = 極小」と設定した際に印刷範囲内に収まる最大数です。

JAN-8/JAN-13	コード	数字のみ入力可 (チェックデジットは自動計算され付加されます) JAN-8 : 7 桁 / JAN-13 : 12 桁
	テキスト	チェックデジットも出力します
Code 39	コード	数字・大文字のアルファベットおよび「.」、「」(スペース)、「\$」、「/」、「+」、「-」、「%」を入力可 最大 128 桁
	比率	2.5 ~ 3.0
	テキスト	チェックデジットの出力を設定できます

Code 128	コード	数字、英字（大文字、小文字）、記号、特殊コードを入力可 最大 128 桁特殊コードは右に表示されるリストボックスから選択します 入力すると「・」と表示されます Code A のみに対応します
	テキスト	チェックデジットは付加されますが、テキストには表示されません 特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません
UPC-A	コード	数字のみ入力可 11 桁（チェックデジットは自動計算され付加されます）
	テキスト	チェックデジットも出力します
UPC-E	コード	数字のみ入力可 6 桁（チェックデジットは自動計算され付加されます）
	テキスト	チェックデジットも出力します
NW-7 (CodaBar)	コード	数字・および「.」、「:」、「\$」、「/」、「+」、「-」を入力可 最大 126 桁 コード前後には必ず「A」「B」「C」「D」のいずれかを付加
	比率	2.5 ～ 3.0
	テキスト	チェックデジットの出力を設定できません
ITF (Interleaved2of5)	コード	数字のみ入力可 最大 128 桁
	比率	2.5 ～ 3.0
	テキスト	チェックデジットの出力を設定できません
EAN-128	コード	数字、英字（大文字、小文字）、記号、特殊コードを入力可 最大 128 桁特殊コードは右に表示されるリストボックスから選択します 入力すると「・」と表示されます Code A のみに対応します
	テキスト	チェックデジットは付加されますが、テキストには表示されません 特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません
EAN-128 (定型)	コード	数字および「(」、「)」、「-」を入力可 44 桁 入力された記号は、テキスト表示にのみ利用しバーコードの生成には利用しません (チェックデジットは自動計算され付加されます) 44 桁目のチェックデジットは所定の計算式による入力が必要です
	テキスト	所定の計算式により入力したチェックデジットが表示されます
QR CODE	コード	英数字・記号（半角のみ）・および漢字 文字数は設定によって異なります 参照  P.69 「QR CODE について」
	テキスト	表示されません
GS1 データバー	コード	オムニディレクショナル、トランケート、スタック、スタック・オムニディレクショナル、リミテッド：数字のみ 13 桁入力可 エクспанデッド、エクспанデッド・スタック：数字最大 73 桁、英字最大 40 桁 入力可
	テキスト	チェックデジットも出力します
MaxiCode	コード	英数字、記号、半角カナ、全角かな、漢字の入力可 最大半角 138 桁 モデル2～モデル5(モデル2,3のみポストコード、国コード、サービスクラス入力可)
	テキスト	特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません
PDF417	コード	モデルは Standard、Truncated、MicroPDF417 が選択可能 英数字、記号、半角カナ、全角かな、漢字の入力可 最大半角 2710 桁
	テキスト	特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません
Data Matrix	コード	モデルは ECC200 Square、ECC200 Rectangular が選択可能 英数字、記号、半角カナ、全角かな、漢字の入力可 最大半角 3116 桁
	テキスト	特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません

●カスタマバーコードを挿入する

郵便番号と住所表示番号を入力してカスタマバーコードを印刷できます。

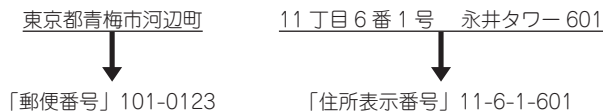
カスタマバーコードについて

カスタマバーコードは「郵便番号」+「住所表示番号」で指定します。

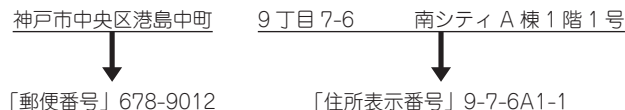
基本的なルールは、町域名までの住所を「郵便番号」で、町域名以降の住所の数値部分を「住所表示番号」で表わします。

カスタマバーコードの例

<住所表示が数字のみの場合>

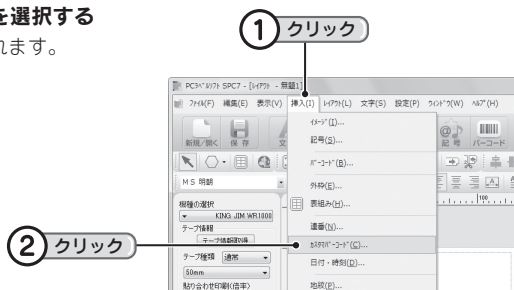


<住所表示にアルファベットがある場合>



例：郵便番号「101-0123」、住所表示番号「11-6-1-601」の場合

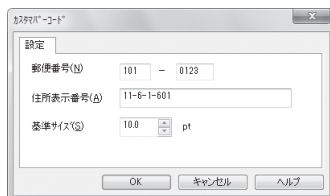
- 1** 【挿入】 - 【カスタマバーコード】 を選択する
【カスタマバーコード】 画面が表示されます。



- 2** 郵便番号や住所表示番号を入力する

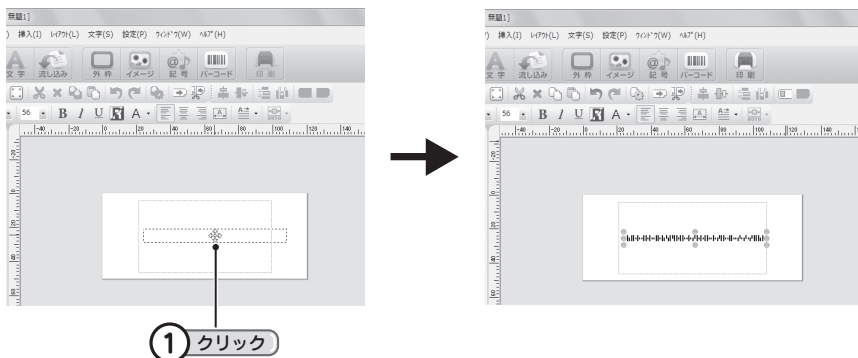
!! 注意 !!

住所表示番号は、数字、大文字のアルファベット、
- (ハイフン) のみ入力してください。



- 3** 【OK】 をクリックする
カーソルがカスタマバーコードの枠になります。

4 カスタマバーコードを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする
カスタマバーコードが挿入されます。




5 サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

カスタマバーコード以外の場所をクリックすると、カスタマバーコードのサイズや位置が確定します。

MEMO

- カスタマバーコードブロックを小さくしすぎると、空白になったり、となり、カスタマバーコードが表示・印刷されなくなります。カスタマバーコードが表示される大きさにしてください。
- カスタマバーコードの数値を変更する場合は、カスタマバーコードをダブルクリック（またはカスタマバーコードを選択した状態で [編集] - [プロパティ] を選択）して [カスタマバーコード] 画面を表示し、内容を変更します。
- カスタマバーコードは 20 桁まで入力可能です。

●表組みを挿入する

表組み機能を使うと、カンタンに表組みを挿入することができます。

1 [表組み] をクリックする

[表組み] 画面が表示されます。

[挿入] - [表組み] を選択しても表示されます。

1 クリック



2 内容を指定する

右側の「表組み種別」で表のスタイルを選択し、行数と列数を指定します。

各罫線の種類や太さも変更できます。

表組み種別 ... 表組みのスタイルを指定します。

行数 表の行数を指定します。

1 ~ 20 の範囲で指定します。

列数 表の列数を指定します。

1 ~ 20 の範囲で指定します。

縦罫線 縦罫線の種類や太さを指定します。

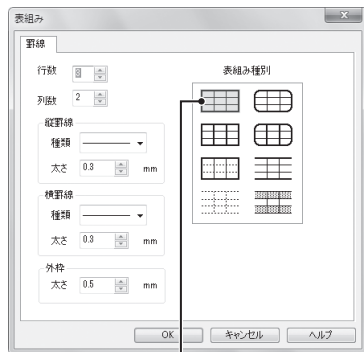
0.1 ~ 5.0 の範囲で指定します。

横罫線 横罫線の種類や太さを指定します。

0.1 ~ 5.0 の範囲で指定します。

外枠 外枠の太さを指定します。

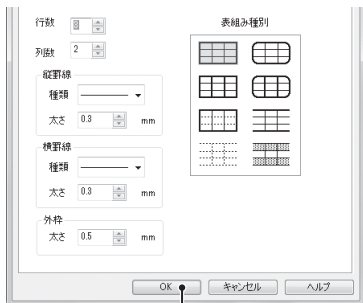
0.1 ~ 5.0 の範囲で指定します。



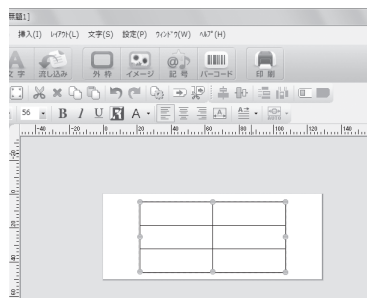
1 選択する

3 [OK] をクリックする

ラベル幅に合わせて表組みが挿入されます。



1 クリック

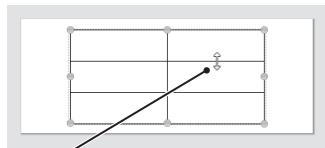


4 サイズや位置を決める

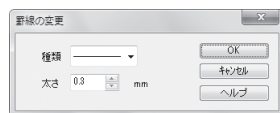
ハンドルつきの状態でサイズや位置を変更できます。
表組み以外の場所をクリックすると、表組みのサイズや位置が確定します。
表組みをクリックすると、罫線の位置を変更できます。
文字を入力し、表組みに合わせてサイズや位置を調整します。

罫線編集

表組みをクリックすると、表組みの周囲にハンドルが表示されます。この状態で内側の罫線をクリックしてハンドルつき状態でドラッグすると位置を変更できます。さらに、内側の罫線をダブルクリックすると「罫線の変更」画面が表示され、罫線の種類や太さを変更できます。



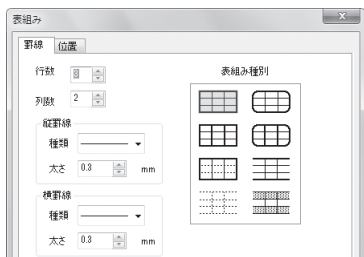
① ドラッグ



【表組み】画面

表組みを右クリックして「プロパティ」を選ぶと「表組み」画面が表示されます。タブをクリックし、それぞれの項目を設定します。設定変更後、「OK」をクリックすると設定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。

【表組み】タブ



各項目の設定は表組み挿入時と同じです。
参照 P.74 「表組みを挿入する」

【位置】タブ



ブロックの座標

..... 表組みブロックの左上の位置を指定します。

ブロックの大きさ

..... 表組みブロックのサイズを指定します。

●連番を設定する

連番機能で、連続した英数字のラベルを作れます。

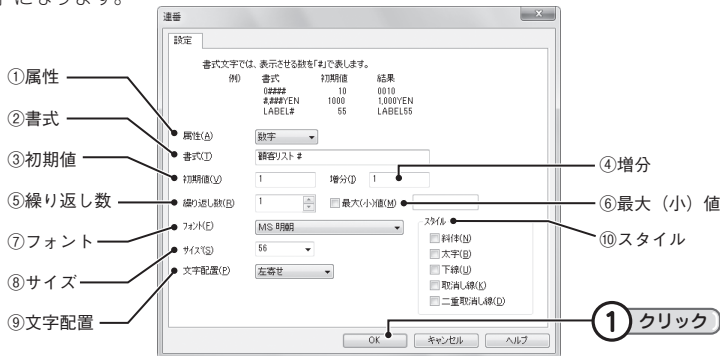
例：1、2、3の入ったラベルを連番で印刷する

- 1** 【挿入】 - 【連番】 を選択する
【連番】 画面が表示されます。



- 2** 連番の内容を指定し、【OK】 をクリックする

例では、「属性」が「数字」、「書式」が「顧客リスト#」、「初期値」、「増分」、「繰り返し数」がすべて「1」になります。



- ①属性：「数字」または「アルファベット」を選択します。
* 「アルファベット」を選択した場合は、「③初期値」と「⑥最大(小)値」に大文字と小文字を混在させないでください。
- ②書式：表示させる数を「#」で表します。連番以外の文字も入力できます。
* 連番は最大9桁まで表示できます。
* シンボルやイラストは入力できません。
参照 P.77 MEMO 「連番の設定方法について」
- ③初期値：「①属性」で「数字」を選択した場合は、カウントを始める最初の数字、「アルファベット」を選択した場合は、カウントを始める最初のアルファベットを入力します。
- ④増分：印刷するごとに加算される増分を最大5桁までの半角数字で指定します。マイナス値や小数点も指定できます。
* 例えば、増分を「1」にすると、1、2、3・・・と数字が1つずつ増え、増分を「-2」にすると、1、-1、-3・・・と数字が2つずつ減ります。
- ⑤繰り返し数：増分するまで同じ内容を何枚印刷するかを半角数字で指定します。
- ⑥最大(小)値：増分が+の場合は最大値、-の場合は最小値を半角数字で指定します。
- ⑦フォント：連番に使用する文字のフォントを指定します。
- ⑧サイズ：連番に使用する文字のサイズを指定します。
* サイズはレイアウト時にも変更できます。
- ⑨文字配置：ブロック範囲内での配置を選択します。
- ⑩スタイル：斜体・太字・下線・取消し線を指定します。

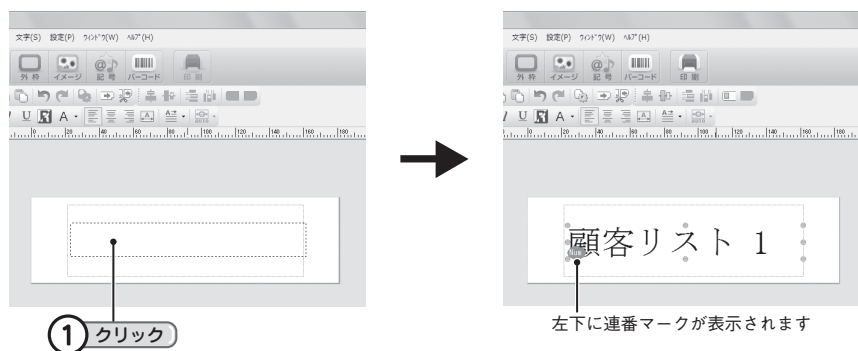
MEMO

連番の設定方法について

書式の入力内容によって、連番の表示内容を変更することができます。

- 連番の前の桁に「0（ゼロ）」を表示させる場合（例：0010）
入力する「#」の前に「0」を入力します。
例) 連番「0010」と表示させる場合
書式：0#### 初期値：10
- カンマを表示させる場合（例：1,000）
入力する「#」の間にカンマ（,）を入力します。
例) 連番「1,000」と表示させる場合
書式：#,### 初期値：1000
- 連番以外の文字と合わせて表示させる場合
- 桁数制限を必要としない場合
（例：LABEL55）
連番以外の文字と「#」を一緒に入力します。
また、桁数制限を必要としない場合は「#」を1つだけ入力します。
例) 連番「LABEL55」と表示させる場合
書式：LABEL# 初期値：55


- 3** 連番を挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする
連番が挿入されます。表示される連番の番号は初期値です。

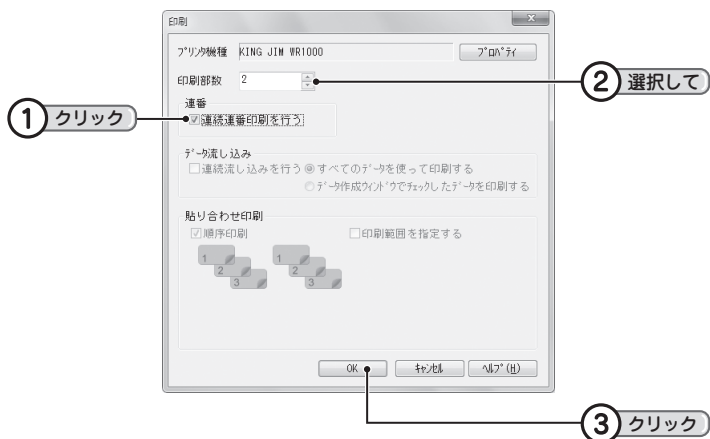


- 4** サイズや位置を決める
ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。
連番以外の場所をクリックすると、連番のサイズや位置が確定します。

次へ進みます

5 連続印刷を指定して印刷する

「連続連番印刷を行う」にチェックマークをつけ、印刷部数を指定します。
「繰り返し数」と「最大(小)値」で指定した連番ラベルが枚数分印刷されます。
参照  P.29 「印刷する」



MEMO

ここで指定する印刷部数は、印刷する全ての枚数になります。

●日付・時刻を挿入する

日付や時刻を入力できます。日付の入ったラベルを作るだけでなく、ファイルを開いたときや印刷するときの日付、時刻を印刷するように設定できますので、製造日などを入れるラベルにも便利です。

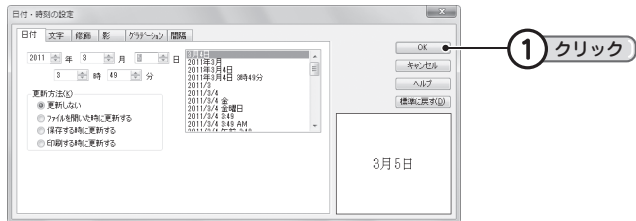
1 [挿入] - [日付・時刻] を選択する

[日付・時刻の設定] 画面が表示されます。



2 日付や時刻の内容を指定し、[OK] をクリックする

日付と時刻、更新方法を選択し、さらに右端のリストから表示形式を選択します。設定の結果は、右側の文字サンプルで確認できます。



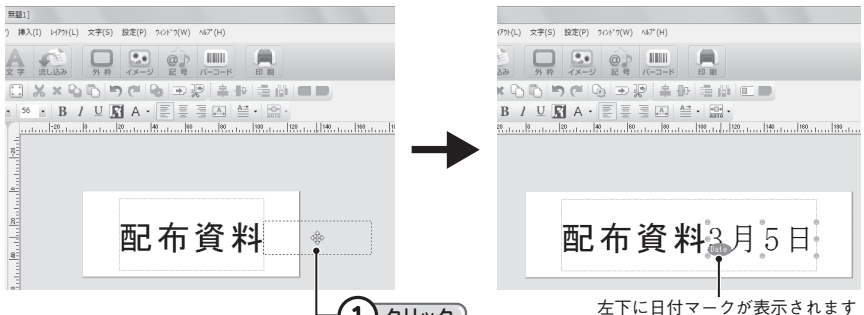
MEMO

- 挿入される日付や時刻はパソコンの設定を利用します。
- [文字] [修飾] [影] [間隔] の各タブでは、「文字の設定」画面同様、フォントや修飾などの詳細を選択できます。

参照 [P.36](#) [[文字の設定] 画面]

3 日付・時刻を挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

日付・時刻が挿入されます。表示される日付・時刻は現在の値です。



4 サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

日付・時刻以外の場所をクリックすると、日付・時刻のサイズや位置が確定します。

●地紋を挿入する

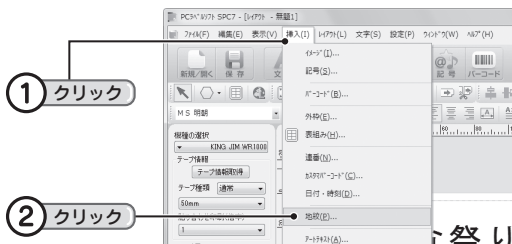
ラベルの背景に、地紋を入れられます。

!! 注意 !!

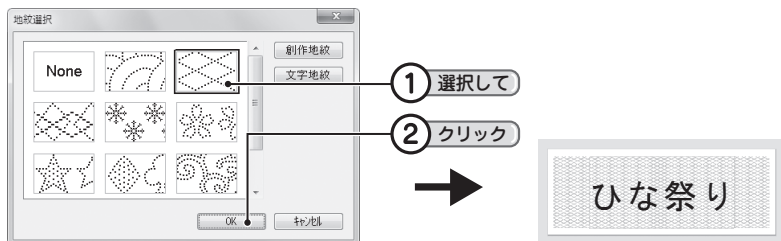
地紋は、画面表示の位置と実際の印刷位置が異なる場合があります。

あらかじめ用意された地紋から選ぶ

- 1 [挿入] - [地紋] を選択する
[地紋選択] 画面が表示されます。

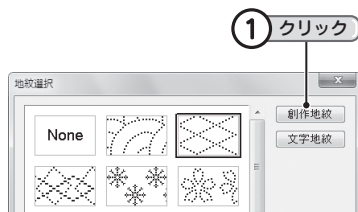


- 2 挿入する地紋を選択し、[OK] をクリックする
ラベルの背景に地紋が挿入されます。



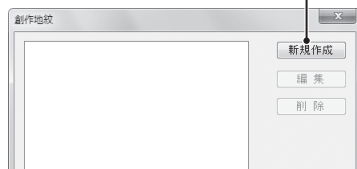
創作地紋を作る

- 1 [地紋選択] 画面で [創作地紋] をクリックする
[創作地紋] 画面が表示されます。



- ② **【新規作成】ををクリックする**
[地紋編集] 画面が表示されます。

① **クリック**



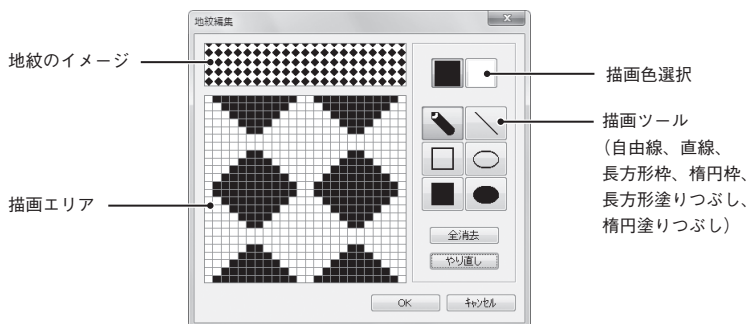
MEMO

- 既にしてある地紋を変更するときは [編集] をクリックします。
- 作った地紋をラベルに挿入するときは、一覧から選択します (手順⑤)。
- 塗りつぶしが多い創作地紋は、印刷結果にムラやにじみなどが生じることがあります。

③ 地紋の模様を描く

描画エリアに模様を描きます。

描画色選択で色を選んだあと、ツールを選び、描画エリアのドットを塗りつぶします。

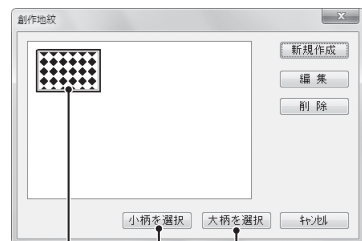


④ 【OK】 をクリックする

創作地紋のリストに登録されます。

⑤ 挿入する地紋を選択し、【小柄を選択】または【大柄を選択】をクリックする

ラベルの背景に地紋が挿入されます。

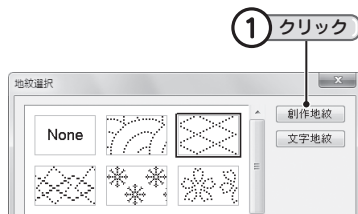


① **選択して**

② **クリック**

文字地紋を作る

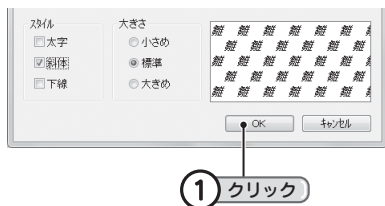
- ① [地紋選択] 画面で [文字地紋] をクリックする
[文字地紋] 画面が表示されます。



- ② 文字を入力し、各項目を設定する



- ③ [OK] をクリックする
ラベルの背景に地紋が挿入されます。



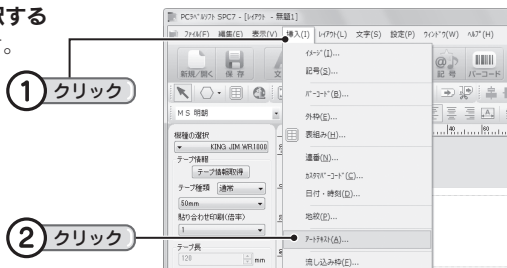
MEMO

文字の大きさ、画数やデザインによっては、文字のツブレが発生することがあります。

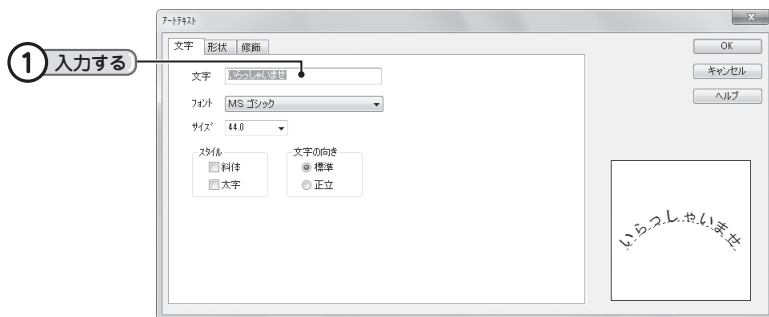
●アートテキストを挿入する

曲線文字や変形文字を入力できます。

- 1 **【挿入】 - 【アートテキスト】 を選択する**
【アートテキスト】 画面が表示されます。



- 2 **文字を入力する**
文字を入力し、各項目を設定します。
設定の結果は、右側の文字サンプルで確認できます。



MEMO

- 「文字の向き」を「正立」にすると、文字が常に縦向きになります。「標準」にすると、ベースラインに対して垂直になります。
- 「修飾」タブでは、[文字の設定] 画面同様、塗りつぶしなどの修飾を選択できます。
参照 P.36 [[文字の設定] 画面]
- アートテキストは全角で 32 文字、半角で 64 文字入力できます。

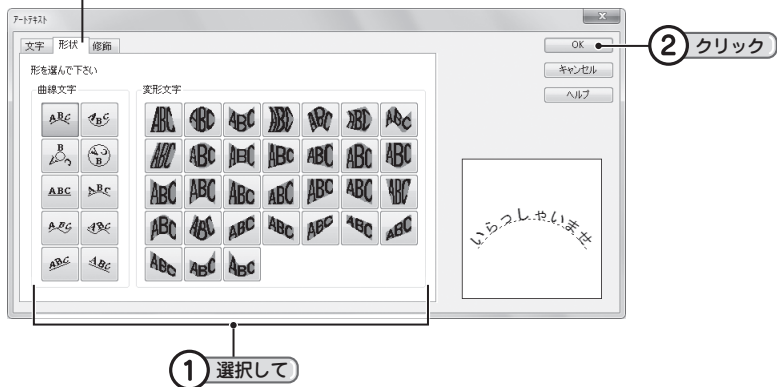
次へ進みます



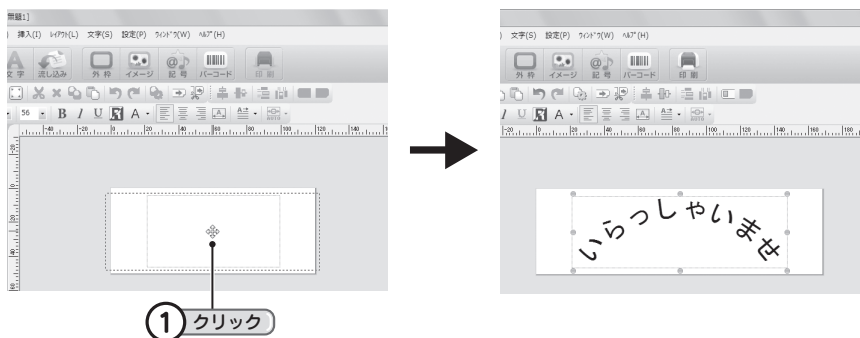
3 [形状] タブでデザインを選択し、[OK] をクリックする。

カーソルがアートテキストの枠になります。

[形状] タブ



4 アートテキストを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする。



5 サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

アートテキスト以外の場所をクリックすると、アートテキストのサイズや位置が確定します。

●市販のアプリケーションから印刷してみよう

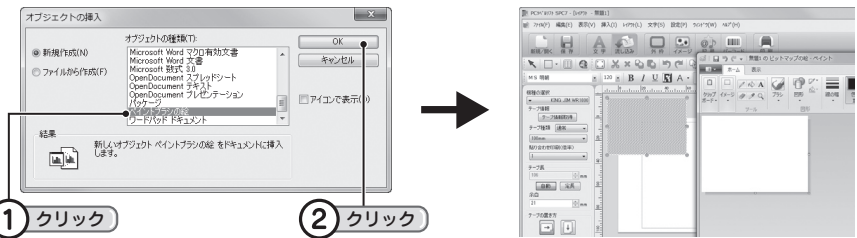
オブジェクトとして取り込む

市販のアプリケーションを呼び出して作成する場合

- 1 【挿入】 - 【オブジェクトの作成と貼り付け】 を選択する
[オブジェクトの挿入] 画面が表示されます。



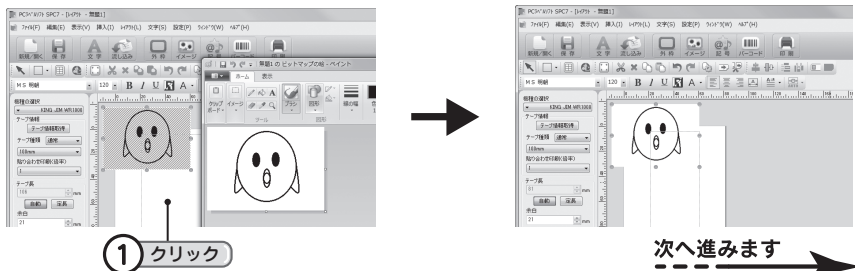
- 2 呼び出すソフトを選択し、【OK】をクリックする
選択したアプリケーションが表示されます。



MEMO

- アプリケーションの種類によっては、SPC7のレイアウト編集画面の中に、アプリケーションが起動することがあります。
- 「アイコンで表示」にチェックマークをつけると、画面や印刷結果には内容が表示されず、アイコンだけが表示 / 印刷されます。アイコンリストなどを印刷するときにご利用ください。

- 3 呼び出したアプリケーションでデータを作ったあと、オブジェクト以外の部分をクリックする
SPC7の編集画面に戻り、データが貼りつけられます。



MEMO

手順②でアプリケーションが起動したときは、データ作成後アプリケーションの [ファイル] メニューから [閉じて xx に戻る] や [終了して xx に戻る] などのコマンドを選択してアプリケーションを終了します。アプリケーションで作ったデータがオブジェクトとして SPC7 の編集画面に貼りつけられます。

4 サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態で、サイズや位置を変更できます。

オブジェクト以外の場所をクリックすると、オブジェクトのサイズや位置が確定します。

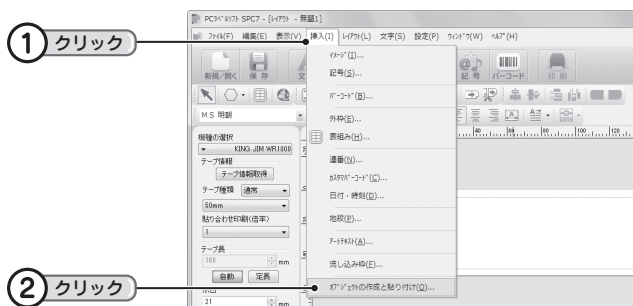
MEMO

オブジェクトをダブルクリックすると、作ったアプリケーションが呼び出され (手順③と同じ表示)、内容を変更することができます。

市販のアプリケーションで作成したファイルを読み込む場合

1 [挿入] - [オブジェクトの作成と貼り付け] を選択する

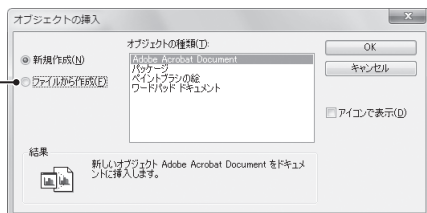
[オブジェクトの挿入] 画面が表示されます。



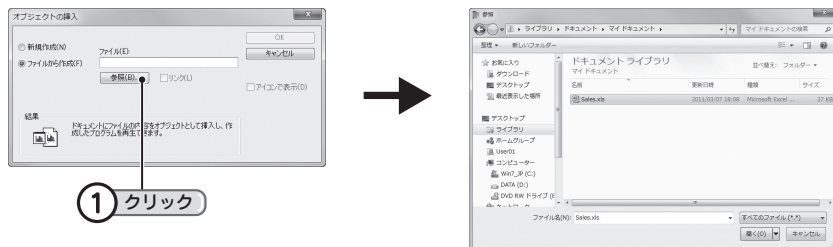
2 「ファイルから作成」をクリックする

ファイルを指定する画面が表示されます。

1 クリック



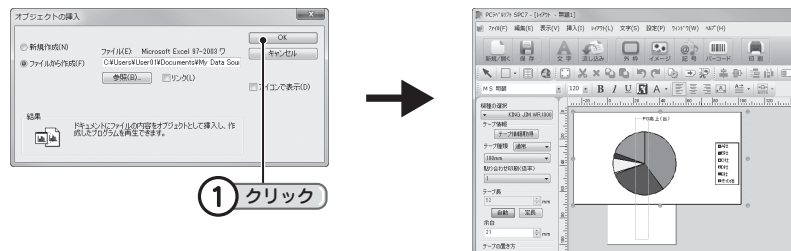
- ③** **【参照】** をクリックし、読み込むファイルを選択して **【開く】** をクリックする
【参照】 画面にファイルがない場合は、フォルダを切り替えて目的のファイルを表示させます。



MEMO

- **【オブジェクトの挿入】** 画面で「リンク」にチェックマークをつけると、元のファイルとリンクされます。リンクした状態では、参照元のファイルの内容を変更すると取り込んだオブジェクトの内容に反映され、逆に取り込んだオブジェクトの内容を変更すると参照元のファイルの内容にも反映されます。リンク機能の詳細は、OS およびアプリケーションソフトの説明書や解説書、またはヘルプを参照してください。
- **【アイコンで表示】** にチェックマークをつけると、画面には内容が表示されず、アイコンだけが表示され、印刷するときもアイコンが印刷されます。アイコンリストを印刷する場合に利用してください。
- ファイルから読み込む場合、「アイコンで表示」にチェックマークを付けなくてもアイコンだけが表示されることがあります。

- ④** **【OK】** をクリックする
 SPC7のレイアウト編集画面に選択したファイルのデータが貼りつけられます。



- ⑤** **サイズや位置を決める**
 ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。
 オブジェクト以外の場所をクリックすると、オブジェクトのサイズや位置が確定します。

MEMO

- オブジェクトをダブルクリックすると、作ったアプリケーションが呼び出され、内容を変更することができます。
- SPC7で取り込んだオブジェクトを「テブラ」Grand本体で印刷すると、白黒の濃淡で表現されるため、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。
- 市販のアプリケーションで作成したイメージファイルは、操作ガイドバーの「イメージ」ボタンで挿入することもできます。イメージは自動的に白黒（2値）の画像に変換されます。
 参照 [P.64](#) 「イメージファイルを挿入する」

市販のアプリケーションから印刷する

「テブラ」Grand 本体を指定することで、市販のアプリケーション（Word、Excel など）からも印刷することができます。市販のアプリケーションを利用するときは、以下の注意をよくお読みになってご使用ください。

MEMO

PC ラベルソフト SPC7 をインストールすると、テンプレート（Word 2002/2003/2007/2010 用、Excel 2002/2003/2007/2010 用）がインストール先に保存されます。テンプレートを利用すると、その他の市販アプリケーションを使用するよりも簡単にラベルを作成することができます。
参照 P.89 「テンプレートを利用する」

- プリンタ名には必ず現在パソコンと接続している「テブラ」Grand 本体の機種名（例：KING JIM WR1000）を指定してから、文書を作ってください。
- 印刷前には、必ず「印刷プレビュー」で印刷状態を確認してください。
- 用紙の設定は、「テブラ」本体にセットしているテープカートリッジのテープ幅に合わせてください。
- ヘッダーやフッターは指定しないでください。また、ページ番号は入れないでください。
- 文字サイズの指定は、テープ幅に合ったポイントになるよう調整するか、拡大率を指定してください。
- プリンタドライバの「プロパティ」画面で、「用紙設定」中の「テープを末端で自動的にカットする」のチェックボックスをはずし、「テープ長」を設定して印刷してください。
- 文字数の多い文章はテープの幅に収まらない可能性があります。
- 画像やイラストを印刷するときは、テープ幅に収まるサイズになるよう調整してください。レイアウトがわからないときは、「印刷プレビュー」で状態を確認してください。
- 画像やイラストを「テブラ」Grand 本体で印刷すると、白黒の濃淡で表現されるため、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。
- グラデーションなどの装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のツブレが発生することがあります。
- アプリケーションによっては正しく印刷できないものがあります。
- 「Word 2002/2003/2007/2010」、「Excel 2002/2003/2007/2010」から印刷するときは、テンプレートを利用することをおすすめします。テンプレートを利用するときは、テンプレートのデータフォルダを各アプリケーションのテンプレートフォルダにコピーしてください。各アプリケーションのテンプレートフォルダの場所や操作方法については、お使いのアプリケーションの説明書を参照してください。
- Word2010 では仕様上の制限により、宛名ラベルはお使いになれません。

テンプレートを利用する

「テブラ」Grandには、Word 2002/2003/2007/2010 用や Excel 2002/2003/2007/2010 用のテンプレートが用意されており、本機に適応した書式・余白・用紙幅の設定で簡単に文書が作成できます。テンプレートは、「C（お使いのハードディスクドライブ）：¥Program Files（64bit版 OS では、Program Files(x86)）¥KING JIM ¥SPC7 ¥DATA ¥TEMPLATE」以下に次の名称で収録されています。

Excel (¥Excel ¥機種名 (例：WR1000))

ファイル名	用途
50mm テープ .xlt	50mm テープ用
100mm テープ .xlt	100mm テープ用

Word (¥Word ¥機種名 (例：WR1000))

ファイル名	用途
50mm テープ横 .dot	50mm テープ横書き用
50mm テープ縦 .dot	50mm テープ縦書き用
100mm テープ横 .dot	100mm テープ横書き用
100mm テープ縦 .dot	100mm テープ縦書き用

テンプレートの使いかた

「テブラ」Grand用のテンプレートを、ご使用のOfficeのテンプレートフォルダにコピーするとExcelやWordでテンプレートとして使用できるようになります。

印刷は、プリンタドライバの「プロパティ」画面で、「用紙設定」中の「テープを末端で自動的にカットする」のチェックボックスをはずし、「テープ長」を500mmに設定して行ってください。

!! 注意 !!

テンプレートの用紙情報は、「テブラ」Grand本体で印刷できるように設定されています。用紙情報を変更するとうまく印刷できない場合があります。

MEMO

コピー先となるテンプレートフォルダの場所や、アプリケーションの機能および使いかたについては、アプリケーションのバージョンや設定によって異なります。お使いのソフトの説明書をご覧ください。

Word、Excelの操作、テンプレートファイルの互換性などにつきましては、ソフトのメーカーにお問い合わせください。ラベルソフトの最新情報については、当社ホームページ（アドレス <http://www.kingjim.co.jp/>）をご覧ください。

●外国語を挿入する

SPC7 では以下の方法で外国語のラベルを作成できます。


直接入力する : Unicodeに対応していますので、多言語の文字を表示できます。綴りや入力方法がわかっている、または入力データをお持ちの場合は SPC7 のレイアウト編集画面のテキストボックスに入力またはコピーして使用できます。

外国語ラベル工房を利用する : 「テプラ」Grand で英語や中国語、韓国語を含んだ定型文ラベルの印刷ができる専用 Web サイトです。SPC7 のボタンで簡単に呼び出して使用できます（インターネットへ接続できる環境が必要です）。

テプラ外国語ラベル工房を利用する

MEMO

- テプラ外国語ラベル工房の利用には、インターネットへの接続環境が必要です。インターネットに接続されたパソコンから利用してください。
- テプラ外国語ラベル工房を利用するための推奨環境については、サイト上の「ご利用にあたって」の項をご覧ください。
- 使用するパソコンには、あらかじめ「テプラ」Grand のプリンタドライバをインストールしておいてください。

- 1**  (テプラ外国語ラベル工房の Web ページ) へのリンクボタンをクリックする
インターネットブラウザが起動し、テプラ外国語ラベル工房の Web ページを表示します。
- 2** Web ページの文例サンプルなどを選択して多言語ラベルを作成する
テプラ外国語ラベル工房での編集は、テープ幅を 36mm として編集をおこなってください。
印刷は、下記の手順でおこなってください。
- 3** テプラ外国語ラベル工房の編集画面中の、[Print] ボタンをクリックする
- 4** 表示される印刷ウインドウで「テプラ」Grand (KING JIM WRxxxx) を選択し、[詳細設定] をクリックする
- 5** 印刷設定ウインドウの「用紙」タブを選択し、テープ幅を設定し、用紙の向きを「横」にする
- 6** オプションタブを選択し、36mm 拡大モードを設定する
プルダウンメニューから、50mm 拡大または 100mm 拡大を選択します。
この設定は、36mm 幅のテープイメージを 50mm/100mm テープに拡大処理させるための設定です。
- 7** [OK] をクリックして、印刷設定ウインドウを閉じる。
- 8** 印刷ウインドウの [印刷] をクリックする
印刷が実行されます。

付録

●テープカートリッジを使いわける

SPC7 で対応しているテープカートリッジは、Grand テープカートリッジ（各色）と Grand カットラベル・宛名（宛名ラベル）があります。

また、インクリボンカートリッジについても、各色用意されています。

それぞれご使用の際は下記のとおり対応してください。

テープ種類	設定方法
Grand テープカートリッジ	Grand インクリボンカートリッジと合わせて使用してください。 「テープ種類」を「通常」に設定し、「テープ色」と「インク色」を使用する色に合わせてください。
Grand カットラベル・宛名	感熱対応テープです。 インクリボンカートリッジを外して使用してください。 「テープ種類」を「カットラベル」に設定し、「テープ色」と「インク色」を使用する色に合わせてください。

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!! 注意 !!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。

MEMO

SPC7 には、「テプラ」Grand WR1000 の使い方を解説した動画「カートリッジのセット方法」、「テープの貼り方」の 2 本が同梱されています。動画はインストール直後の案内画面から開くこともできますが、[スタート] - [すべてのプログラム] - [TEPRA] - [PC ラベルソフト SPC7] (Windows 8 は、[スタート] 画面で右クリックし、[すべてのアプリ] - [TEPRA]) からでも再生できます。

●故障かな？ と思ったら

動作しない、印刷できないなど、問題が発生した場合は、次の項目を確認してください。

印刷を実行しても「テプラ」Grand 本体が動作しない

パソコンの画面にエラーメッセージが表示されていませんか？

エラーが発生すると印刷できません。エラーメッセージの内容を確認してください。

プリンタドライバがインストールされていますか？

プリンタドライバがインストールされていないと印刷できません。

プリンタドライバをインストールしてください。また、インストール後に、パソコンを再起動しなかった場合、プリンタドライバが正常にインストールされていない可能性があります。プリンタドライバをインストールしなおしてください。

参照 P.6 「パソコンにインストールする」

「テプラ」Grand 本体が正しくパソコンに接続されていますか？

パソコンと適切なケーブルで接続されているか確認してください。

参照 P.16 「パソコンと「テプラ」Grand 本体を接続する」

正しいプリンタ名が選択されていますか？

他のプリンタを指定していると正しく印刷されません。選択しているプリンタ名を確認してください。

参照 P.29 「印刷する」

プリンタがオフラインになっていませんか？

「テプラ」Grand 本体を接続していない状態でパソコンを起動すると、「プリンタの設定」がオフラインになることがあります。接続しても印刷できないときは、以下の方法でオフラインの状態を解除してください。

[デバイスとプリンター] 画面で機種名を右クリックして「印刷ジョブの表示」を選択し、表示される「印刷ジョブ」画面で [プリンター] - [プリンターをオフラインで使用する] を指定し、チェックをはずしてください。

Windows Vista は、[プリンタ] (Windows XP は [プリンタと FAX]) 画面で機種名を選択し、右クリックで表示されるメニューから「プリンタをオフラインにする」を指定し、チェックをはずしてください。

機能が選択できない

対象範囲を選択していますか？

変更したいブロックを選択してください。

文字がきちんと印刷されない

テープカートリッジは正しくセットされていますか？

テープカートリッジやインクリボンカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。

テープカートリッジとインクリボンカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください。

印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。別売のヘッド・クリーニングキット (RC15) をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール (エチルアルコール) を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。

きれいに印刷できない

印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドが汚れると印刷がカスレることがあります。「テプラ」Grand 本体の取扱説明書を参照して、印刷ヘッドをクリーニングしてください。

途中までしか印刷されない

テープカートリッジの残りがありますか？

新しいテープカートリッジをセットし、もう一度印刷しなおしてください。


ラベル印刷後、自動カット されない

テープカットを「テープカットしない」に指定していませんか？

「テープカット」を「テープカットしない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこないません。プリンタドライバで、設定を確認してください。

カッターの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  巻末「アフターサービスについて」

文字が欠けたり、カスレる

テープカートリッジは正しく装着されていますか？

テープがたるんでいると、文字が欠けたり、カスレたりすることがあります。

テープ送りをして、たるみを取ってください。


印刷位置がおかしい

アプリケーションで正しく設定していますか？

市販のアプリケーションを使用している場合、アプリケーションによっては、余白の設定や印刷位置の調整が必要な場合があります。「印刷プレビュー」機能などで印刷状態を確認してください。

MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  巻末「アフターサービスについて」

英数字

36mm 拡大モード	90
CD-ROM	6
Code39/128 (バーコード)	71
CSV 形式	50、54
Data Matrix (バーコード)	71
DOT 形式 (テンプレート)	89
EAN-128 (バーコード)	71
EAN-128 定型 (バーコード)	71
Excel	50、88
GS1 データバー (バーコード)	71
ITF (バーコード)	71
JAN-8/JAN-13 (バーコード)	70
MaxiCode (バーコード)	71
NW-7 (バーコード)	71
PC ラベルソフト SPC7	7、17
PDF417 (バーコード)	71
QR CODE (バーコード)	69、71
SPC7 ファイル	22
tpe 形式 (SPC7 ファイル)	22、32
TXT 形式	50、54
Type (QR CODE)	69
UPC-A (バーコード)	71
UPC-E (バーコード)	71
URL	70
USB	6
USB ケーブル	16
Word	88
XLSX 形式	50、54
XLS 形式	50、54
XLT 形式 (テンプレート)	89

あ

アートテキスト	83
アフターサービスについて	巻末
アプリケーション	7、12
淡文字	35
アンインストール	12
アプリケーション	12
プリンタドライバ	12
安全上のご注意	1
アンダーライン (下線)	35
位置	
～合わせ (レイアウト)	45
[イメージ] 画面	65
[図形の設定] 画面	40

[表組み] 画面	75
[文字の設定] 画面	37
～を揃える	44
一番後ろへ	44
移動する	
ブロックを～	41
イメージデータ	
データ作成	57
イメージファイル	64
データ作成	58
色 (テープイメージ)	21
印刷	29、48
～チェック	49、53
データ流し込み	53
貼り合わせラベル	62
～部数	30
連番	78
印刷範囲	20
～を指定する	62
インストール	6
アプリケーション	8
プリンタドライバ	10
上書き保存	32
円 (図形)	28
扇形 (図形)	28、40
オブジェクト	85
オプション (バーコード)	67

か

外国語	90
外国語ラベル工房	90
回転	42
回転角	
[イメージ] 画面	65
[図形の設定] 画面	40
[文字の設定] 画面	37
ガイドライン	20
角丸正方形	40
角丸長方形	40
影 (文字の設定)	36
影の色	36
重ね順	44
カスタマバーコード	72
データ作成	57、59
下線	35
画像調整 (イメージファイル)	65
型抜き (イメージファイル)	65

間隔 (文字の設定).....	37	市販のアプリケーション.....	85、88
環境設定.....	37、40	地紋.....	80
記号.....	66	斜体.....	35
機種種の選択.....	19、21	修飾 (文字の設定).....	36
起動 (SPC7 の～).....	18	住所表示番号.....	72
起動時にこの画面を表示しない.....	19	自由線 (図形).....	28
基本操作 (SPC7).....	26	終了 (SPC7 を～).....	25
行		種類	
～番号.....	49	線.....	39
～を削除する.....	55	テープの～.....	21
～を挿入する.....	55	塗りつぶし.....	39
～を並び換える.....	56	バーコード.....	67
行間.....	37	条件 (パソコン).....	6
共有プリンタ.....	15	初期値 (連番).....	76
曲線文字.....	83	書式 (連番).....	76
均等割付.....	35	書体を変更する.....	33
グラデーション (文字の設定).....	37	白黒反転.....	35、36
繰り返し数.....	76	白抜き.....	35
グリッド.....	20	新規作成.....	19
グループ化.....	46	データ作成.....	49
形状		新規 / 開く.....	19
アートテキスト.....	84	垂直等間隔.....	45
[図形の設定] 画面.....	40	垂直反転.....	43
罫線編集 (表組み).....	75	水平等間隔.....	45
減色方法.....	65	水平反転.....	43
更新方法 (日付・時刻).....	79	図形	
コード (バーコード).....	67	～の設定.....	39
故障かな?と思ったら.....	93	～の編集.....	38
固定長.....	35	～ブロック.....	38
コピーする.....	41	～を描画する.....	28
		スタイル.....	36
		連番.....	76
		すべてを保存する.....	54
		正多角形.....	28、40
		接続.....	16
		設定項目 (バーコード).....	70
		セットアップ.....	5
		セル.....	49
		線	
		[図形の設定] 画面.....	39
		～の種類.....	39
		～の太さ.....	39
		線種 (図形).....	28
		前面に移動 (レイアウト).....	44
		創作地紋.....	80
		装飾なし.....	35
		装飾を指定する.....	35
		増分.....	76
		ソート.....	56
		属性	

さ

サイズ

文字.....	34、36
連番.....	76

最大 (小) 値.....	76
---------------	----

削除

図形.....	47
ソフトウェア (アンインストール).....	12

座標

[イメージ] 画面.....	65
[図形の設定] 画面.....	40
[文字の設定] 画面.....	37

左右中央.....	45
-----------	----

四角形 (図形).....	28
---------------	----

しきい値.....	65
-----------	----

時刻.....	79
---------	----

字体.....	36
---------	----

自動長.....	35
----------	----

自動 (テープ長).....	21
----------------	----

列～	49
連番	76
外枠	63
揃える (位置)	44

た

縦書き	35
縦 (テープの置き方)	21
チェックデジット	70
中央合わせ	35
直線 (図形)	28
ツールボタン (図形)	28
定長 (テープ長)	21

データ	
～作成画面	48、49
～作成と流し込み	48
～流し込み	52
～のみ保存する	54
～読み込み	50
～を入力する	51
～を開く	50
～を編集する	55
～を保存	54

テープ	
～イメージ (色)	21
～種類	19、21
～設定	21
～設定ツールバー	21
～長	21
～の置き方	21
～幅	19、21、61

テープカートリッジを使いわせる	92
テープカット	29
テープ情報取得	19、21
テープの端 (配置)	45
テープ幅確認	30
テキスト	
～以外のデータ	57
～データ	57
～ブロック	26
～ボックス (→ブロック)	26

テキストボックス固定長	35、36
テキストボックス自動長	35、36
デザインの選択	23
デザインフォーム	19、23
テンプレート	88、89

な

流し込み	48
流し込みデータ	49

流し込み枠	52
名前を付けて保存	32
並び (ソート)	56
入力 (文字)	26
入力ボックス	49、51
塗りつぶし	36
塗りつぶし (図形の設定)	39
ネットワーク管理者	11

は

バーコード	67
データ作成	57、59
配置	45
背面に移動 (レイアウト)	44
倍率 (テープ設定)	21、61
パソコン	
～の条件	6
～の接続	16

パターン	37
貼り合わせ印刷	21、61
貼り付け	42
反転	43
ハンドル	26、28
左寄せ	35
日付	79
描画 (図形)	28

表組み	74
～のプロパティ	75
表示形式 (日付・時刻)	79
開く (ファイル)	22
ファイルを開く	19、22
フォント	33、36
～サイズ	34
連番	76

複写する	41
縁強調	35
縁取り	35

太さ	
線	39
輪郭	36

太字	35
プリンタ機種	30
プリンタドライバ	7、12
ブロック合わせ	45
ブロックを編集する	41
プロパティ	29、35
文書を保存	32
分類 (デザインフォーム)	23
ベースライン	37
ベジェ曲線 (図形)	28

変形文字	83
保存	32
データ流し込み	54

ま

右寄せ	35
文字	
～サイズを変更する	34
～ツールバー	33、35
～の色	36
～の設定	35、36
～の編集	33
配置 (連番)	76
～を入力する	26
文字間	37
文字地紋	82

や

矢印	39
優先順位 (ソート)	56
郵便番号	72
横書き	35
横 (テープの置き方)	21
余白	21

ら

ラベル編集ソフト	7、17
履歴を見る	19
輪郭	36
輪郭をつける	36
リンク	87
レイアウト	
～編集画面	48
列	
～属性	49
～属性を変更する	57
～タイトル	49
～タイトル入力	60
～のタイトルを変更する	60
～を削除する	55
～を挿入する	55
連続印刷	78
連続直線 (図形)	28
連番	76
ロック	46

わ

枠	36
イメージファイル	65

●アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本体およびご使用中の AC アダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）

ナットクのパートナー

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

FAX からの場合 0120-79-8102

携帯電話からの場合 0570-06-4759

※通話料お客様負担

受付時間：平日（月曜日～金曜日） 午前 9 時～午後 5 時 30 分

■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>

「テプラ」Grand PC ラベルソフト SPC7 取扱説明書

（対象機種：WR1000）

2012 年 11 月 第 2 版

PCラベルソフト SPC7

取扱説明書



・お問い合わせ

フリーダイヤル(全国共通) ネットクのパートナー
お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

受付時間: 平日(月曜日～金曜日)午前9時～午後5時30分

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>